

UNAIDS 2015 | GUIDANCE

UNAIDS TERMINOLOGY GUIDELINES

UNAIDS 用語ガイドライン（日本語版）

UNAIDS 用語ガイドライン

2015

目次

| | |
|--------------------|----|
| はじめに | 3 |
| 推奨する用語 | 4 |
| 主な用語に関する背景説明 | 12 |
| 組織紹介 | 40 |
| 参考情報 | 42 |
| テーマ別用語索引、出典（略） | |
| 訳者から | 43 |

原文は UNAIDS 公式サイト の pdf 版 でご覧ください。

http://www.unaids.org/sites/default/files/media_asset/2015_terminology_guidelines_en.pdf

はじめに

言葉は思考をかたちづくり、行動にも影響を及ぼすかもしれません。よく考えて適切な言葉を選ぶことが、世界的なエイズの流行に立ち向かう力になってきました。国連合同エイズ計画（UNAIDS）はこのため、スタッフおよび共同スポンサーである国連 11 機関、HIV 対応にあたる他のパートナー機関で働く人々たちに向けて、用語のガイドラインを作成し、活用しています。

ガイドラインは定期的に改訂を行う現在進行形の文書でもあります。今回は 2011 年ガイドラインからいくつかの用語の使用を避けるよう提案し、世界的な HIV の流行に対応するうえで適切と考えられる用語、UNAIDS でよく使われるようになった用語などを新たに加えました。巻末には同じ見出し語をテーマ別に分類して掲載してあります。

このガイドラインは営利目的で使用するものでなければ、出典を明記して自由にコピー、配布することができます。コメントや追加、削除、修正の提案がありましたら terminology@unaid.org にお送りください。

推奨する用語

| 使うべきでない用語 | 背景的情報 | 推奨する用語 |
|---|--|--|
| エイズキャリア [AIDS carrier] | この用語は誤りであり、スティグマの原因になって多くの HIV 陽性者を傷つけることにもなるので、すでに使われていない。 | HIV 陽性者 [person living with HIV] |
| | エイズ対策、HIV 対策、エイズへの対応、HIV への対応という用語はしばしば流行への対応という意味で使われている。 | HIV 対策 現在の対策は HIV の感染予防および HIV 陽性者のエイズ発症前の治療を目的としていることが多い。 |
| エイズ感染者、HIV 感染者、伝播者 [AIDS-infected; HIV-infected; transmitters] | エイズに感染している人はいない。エイズは感染因子ではないからだ。エイズは HIV 感染に伴い(感染から死亡までの)免疫低下の進行によって起きる日和見感染症や他の疾病の症候群を表わす。人は PLHIV といった略称で呼ばれるべきではない。それは人間性を奪うことになる。名前や集団は省略せずに書くべきである。ただし、表やグラフで短縮する必要があるときに集団の略称を使うことはあり得る。 | 人に言及する際には(感染が明らかにされていれば)HIV 陽性、HIV 陽性者、(感染の有無が分からなければ)HIV ステータスが分かっていないという。 |
| エイズ孤児 [AIDS orphans] | この用語はスティグマを強めるだけでなく、事実かどうかにかかわらず子供たち自身に HIV 陽性のレッテルを貼ることになる。社会的な条件のみで人を見ても個人を尊重する意識が欠けてしまう。医学的な状態でしか人をみないのと同じことだ。伝統的な使用法とは異なり(ただし辞書の定義にはあわせ)、UNAIDS はエイズによる孤児および社会的に弱い立場の子供たちの総称として孤児を使い、HIV により両親あるいは一方の親を失った子供たちを表わすことがある。 | エイズによる孤児および社会的に弱い立場の子供たち [orphans and other children made vulnerable by AIDS] |
| エイズ検査 [AIDS test] | エイズの検査はない。HIV の検査である。 | HIV 検査または HIV 抗体検査を使う。 |
| エイズウイルス、HIV ウイルス [AIDS virus; HIV virus] | エイズは症候群である。したがってエイズウイルスと呼ぶのは誤っている。HIV は最終的にはエイズの原因になる。HIV ウイルスの使用は避ける(HIV はヒト免疫不全ウイルス human immune-deficiency virus の頭文字であり、ウイルスを繰り返す必要はない)。 | HIV 後に“ウイルス”を付け加える必要はない。 |

| 使うべきでない用語 | 背景的情報 | 推奨する用語 |
|--|---|--|
| behavioural change | Behaviour change は通常、HIV に感染する機会を減らすような(特定の行為を尊重したうえで)健康的な行動を採用ないし維持することと定義される。 (注: 両方とも日本語にすると“行動変容”になってしまうので、見出し語は英文のまま紹介します。推奨する用語は過度な一般化を避け、より焦点を絞った使い方、限定的な表現の仕方を心がけるための用語ということでしょうか) | behaviour change |
| 橋渡しをする集団: 橋の集団 [bridging population; bridge population] | これらの用語は HIV 感染の高いリスクにさらされている集団を表わす際に使われる。その集団に属する人が他の人と感染予防策を取らない性関係を持つかもしれない、しかもその関係がなければ相手は HIV 感染にさらされるリスクが低いといった場合の用語である。HIV は個人の行為を通して感染するのであり、集団に属するかどうかは感染の原因になるわけではないので、こうした用語の使用は避けるべきである。 | 集団でなく行為を記述する。 |
| キリスト教会; ユダヤ教会; 回教寺院; 宗教団体 [church; synagogue; mosque; religious organization] | 信仰の妥当性に関しては常に(はっきり言うにせよ、あいまいにせよ)決めつけるような言い方を避けることが大切である。faith-based organization(宗教系組織、信仰に基づく団体)という表現はより包摂的であり、歴史的な(とりわけ西欧中心的な)発想パターンを免れることができる。 | 宗教系組織(信仰に基づく団体) [faith-based organization] |
| コマーシャル・セックスワーカー、コマーシャル・セックスワーカー [commercial sex work; commercial sex worker] | 「コマーシャル」と「ワーク」という言葉は同じことを意味しているので一緒に使わない。セックスワーカーという用語は価値観を入れず、性的サービスが売られる労働条件に焦点を当てようとしている。セックスワーカーには、承諾した上で性的サービスと金品を定期的もしくは時折、交換する女性、男性、トランスジェンダーの成人もしくは 18 歳以上の若者が含まれる。セックスワークは成人間の合意に基づく性の売買と定義されているため、子供(18 歳未満)がセックスワークに従事することはできない。セックスワークに巻き込まれた子供は性的搾取の犠牲者と見なされる。 | セックスワーク、コマーシャル・セックス、性的サービスの販売。 セックスワーカーはセックスに対し支払いを受けるということは可能。 セックスワーカー、性を売る女性/男性/人。 セックスワーカーの客は、性を買う男性/女性/人と呼べるだろう。 |

| 使うべきでない用語 | 背景的情報 | 推奨する用語 |
|--|--|--|
| 矯正レイプ [corrective rape] | <p>“homophobic”なレイプでは、レズビアンまたはゲイであるか、レズビアンまたはゲイと見られている人が、その故にレイプされる。さまざまな性的な暴力のパターンの一部として、この種の攻撃は通常、女性に対する尊重の念を根本的に欠き、根深い同性愛嫌悪による女性嫌いと結びついていることもしばしばある。</p> <p>「矯正レイプ」という用語は、「逸脱」した行為もしくは性的指向を矯正したり、治したりする必要があるかのような印象を与えるので、使用しない。ヘイトクライムのもとになる根深い同性愛嫌悪の感情に留意している点で、「同性愛者への偏見によるレイプ」の方がましである。</p> | 同性愛者への偏見によるレイプ [homophobic rape] |
| 致命的、不治の病、管理可能な慢性疾患、免疫不全 [deadly, incurable disease; manageable, chronic illness; immune deficiency] | <p>エイズに死の病とか不治の病といったレッテルを貼ることは、恐怖を生み出し、スティグマと差別を強めることになるだろう。管理可能な慢性疾患といった言い方も治療があるのでかつて考えられていたほど深刻な病気ではないだろうといった誤解を与えやすくなる。エイズは依然として深刻な健康状態である。</p> <p>エイズは単に免疫不全の症例というだけではない。臨床症状に基づく疫学的な定義であり、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)が原因となっている。HIV は病原体の感染や病気と闘う体の力を破壊し、最終的には死をもたらすことになる。抗レトロウイルス治療はウイルスの複製を抑えるので、HIV 陽性者は長く生きられるようになり、生活の質も大きく改善するが、HIV に感染していない状態にすることはできない。</p> | 誤解を避けるために、エイズに言及する際にはこうした形容詞の使用は避ける方が望ましい。 後天性免疫不全症候群 |
| disabilities | <p>「国際生活機能分類—国際障害分類(ICF)は障害を機能障害、活動制限、参加制約の包括的用語として定義している」(1)。</p> <p>これは国連の『障害者の権利に関する条約』における定義、すなわち「障害者には、長期的な身体的、精神的、知的又は感覚的な機能障害であって、さまざまな障壁との相互作用により他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げ得るものを有する者を含む」(注:外務省公式サイトから)と一致している。</p> | persons or people with disabilities |
| ドライバー [driver] | <p>流行拡大の潜在的要因を説明する際にしばしば使われてきた(たとえば、人びとの HIV 感染に対する脆弱性を促すような貧困、ジェンダー、不平等、人権侵害などの構造的、社会的要因)。しかし、より直接的な要因 — 同時期における複数の性パートナーの広がり、集団内における注射薬物使用者数など — もドライバーとして定義されることがある。</p> | 混乱を避けるためにこの用語は使わないか、毎回、意味を定義して使う方がいい。 |

| 使うべきでない用語 | 背景的情報 | 推奨する用語 |
|--|---|--|
| 薬物中毒者; 薬物乱用者 静脈注射薬物使用者 | いずれも侮蔑的な意味を含む用語であり、薬物使用者に接する際に必要な信頼感の醸成を妨げる。 皮下注射や筋肉注射もあるので不正確である。 IDU(注射薬物使用者を表わす)のような頭文字の略称で人に言及することは人間性を奪うので控える。名前や集団の属性は略さずに書くべきである。表やグラフで簡潔に表わす必要があるときに集団名の略称を使うことはあり得る。 | 薬物を注射する人を使う方が、人を強調するかたちになるので望ましい。薬物使用者の方が対象範囲が広くなり、適切なこともある。 |
| エイズを終わらせる、エイズ終結; HIV を終わらせる、HIV 終結; HIV を排除、エイズを排除; HIV 根絶、エイズ根絶 [end AIDS, the end of AIDS; end HIV; ending HIV; the end of HIV; eliminate HIV; eliminate AIDS; eradicate HIV; eradicate AIDS] | HIV を排除することは現在でもなお、実現可能なゴールではない。しかし、HIV の予防効果、治療効果が証明されている戦略はあるし、公衆衛生上の脅威としてのエイズの流行を終わらせるためにそうした戦略を組み合わせていくことも可能である。 | 公衆衛生の脅威としてのエイズ流行終結(推奨用語); 他の容認可能な用語 — 流行の終結に向かう、エイズ流行の終結に向かう、エイズ流行を終わらせる、流行を終わらせる。 |
| エビデンスに基づく [evidence-based] | 研究、治療、予防の文脈では、エビデンスは通常、論文審査を経て科学雑誌に発表された質的ないしは量的な結果に関して使われる。エビデンスに配慮したという用語を選択するのは、意思決定には複数の要素が影響し、科学的エビデンスだけで決まるわけではないという事実を認識しているからだ。他の要素には、文化的な妥当性、公平や人権への配慮、実行可能性、機会費用などがある。 | エビデンスに配慮した [evidence-informed] |
| 女性化 [feminization] | 女性化という用語はかつて、HIV の流行が女性に与える影響の大きさを強調するために使われていた。しかし、意味があいまいなうえ、スティグマを強めるおそれもあるので、使用を避けるべきである。 | 疫学的な傾向を論じる際には、あいまいなコンセプトに替え、個別の正確な事実や詳細を示すようにする。 |

| 使うべきでない用語 | 背景的情報 | 推奨する用語 |
|---|--|--|
| <p>戦う、およびその他の好戦的な用語（例、闘争、戦闘、キャンペーン、戦争）</p> <p>[fight and other combatant language (e.g. struggle, battle, campaign or war)]</p> | <p>直接の引用やテキストの文脈上しかたがない場合でなければ、これらの用語は避ける。その理由の一つは、HIV に対する闘いが HIV 陽性者に対する闘いに転化してしまうのを避けるためだ。</p> | <p>対応、～のマネージメント、～に対する手段、イニシアティブ、行動、努力、プログラム</p> <p>[response, management of, measures against, initiative, action, efforts and programme]</p> |
| <p>(より)リスクの高い集団、脆弱な集団</p> <p>high(er)-risk group; vulnerable groups</p> | <p>これらの用語はリスクが集団の内部にあるような印象を与えるため避けるべきである。実際にはすべての社会集団は相互に関係しているのだ。ハイリスクグループという用語は、安全性に対し誤った印象を与えることになる。リスクの高い行動はその集団に特定されているわけではないからだ。さらに、そうした用語は特定の集団に対するスティグマや差別を広げることにもなる。個人にリスクをもたらすのは特定の集団に属しているかどうかではなく、行動である。</p> <p>結婚もしくは同棲している人、とりわけ女性の場合は、性的パートナーのリスク行動によって、本人はリスク行動を取っていなくてもリスクにさらされることがある。</p> | <p>(流行動向の鍵を握る、あるいは対応の鍵となるという意味で)キーポピュレーション(1)、または(あてはまるときには)若いキーポピュレーションを使う。キーポピュレーションは、社会的な圧力や社会的雰囲気により HIV を含む感染にさらされやすくなるという意味の脆弱なポピュレーションとは性質が異なる。</p> |
| <p>HIV/AIDS; HIV and AIDS</p> | <p>混乱のもとになるので、可能なときには常に HIV/AIDS という表現の使用は避けるべきである。HIV 陽性者の多くはエイズを発症していない。HIV/エイズ予防という言い方はさらに避けなければならない。HIV 予防に必要なのは、コンドームをいつも正確に使うこと、消毒された注射器具を使うこと、社会規範を変えることなどであり、一方でエイズ予防には抗レトロウイルス治療、コトリモキサゾール、栄養、抗結核薬予防投与などが必要になるからだ。文脈によって最も適した用語を特定して使用することが望まれる。</p> | <p>HIV 陽性者、HIV 陽性率、HIV 予防、HIV 対策、HIV 検査、HIV 関連疾病、エイズ診断、エイズのために弱い立場に置かれた子供、国家エイズ計画。エイズ・サービス組織、HIV 流行とエイズ流行は使用可能だが、HIV 流行の方がより包摂的な用語である。</p> |
| <p>ホットスポット [hotspots]</p> | <p>HIV の「ホットスポット」とは一定の地区や都市、国の中で HIV 陽性率または発生率が高いところを示唆する。この用語は「ホットスポット」とされた場所に住む人たちを否定するような印象を与える可能性があり、注意して使う必要がある。代わりに実際の状況を説明すべきである。</p> | <p>場所もしくは流行地区名を使い、状況を説明する。</p> |

| 使うべきでない用語 | 背景的情報 | 推奨する用語 |
|---|--|--|
| <p>インターベンション、介入 [intervention]</p> | <p>この用語は文脈によって意味が異なる。治療に関しては、インターベンションが人命を救うかもしれない。しかし、コミュニティにおけるプログラムでは、何かを誰か(または何か)に対して行うという意味になる。こうしたかたちでの使用は、参加型対応の考え方を損なうおそれがある。</p> | <p>プログラミング、プログラム、活動、イニシアティブなど。インターベンションは3つの場合に使われる。構造的インターベンション、ヘルスケア・インターベンション、保健システム強化インターベンション。こうした文脈での使用は適切である。</p> |
| <p>高いリスクにさらされている集団 (MARPs) ほか [most at risk; most-at-risk adolescents (MARAs), most-at-risk young people (MARYP), most-at-risk populations (MARPs)]</p> | <p>コミュニティの中で対象となる人へのスティグマを強めることになるので、これらの用語は避けるべきである。特定のプロジェクトでこうした表現を引き続き使わなければならないときでも、(直接的または間接的に)人を MARA、MARYP、MARP などと呼ばないようにすることが重要である。</p> | <p>集団内で個人を HIV 感染のリスクにさらしている行動に言及する。 (例 一方が HIV 陽性で他方は陰性のカップルの感染予防策をとらないセックス、コンドーム使用率の低いセックスワーク、消毒された注射器具へのアクセスがないまま薬物を使用する若者など)</p> |
| <p>同時期における複数の相手との関係 (MCP) [multiple concurrent partnerships (MCP)]</p> | <p>同時期における性関係を有する人とは、1人の相手と2回の性関係を持つ間に他の人とも性関係がある人を指す。サーベイランス上は、過去6カ月以内にそうした行為があった人と定義される。</p> | <p>同時期の性関係、同時期の関係、あるいは簡潔に同時性</p> |
| <p>注射針・注射器の共用 [needle-syringe sharing]</p> | <p>注射器配付プログラムがないところでは、(誰が使ったか分からない)廃棄された注射針を使ったり、注射針とドラッグを取引きしたり、プロの注射業者に注射してもらったりするかもしれない。注射器具の供給が制限されている場合には、個人の行動よりもむしろ、注射器具が入手できるかどうかを強調する必要がある。</p> | <p>注射による HIV 感染のリスクについては、汚染された注射器具の使用は実際の HIV 感染につながり、消毒されていない注射器具の使用または複数の人による注射器具の共用には HIV 曝露のリスクがある。</p> |

| 使うべきでない用語 | 背景的情報 | 推奨する用語 |
|--|--|--|
| パンデミック、世界的大流行 [pandemic] | 地域や大陸、あるいは世界全体を覆う流行はパンデミックと呼ばれることがある。だが、この用語は不正確である。エピソードも参照。 | 流行を使い、地区、国、地域、世界など、その規模を特定する。 |
| people living with HIV and AIDS, PLWHA, PLWHIV, AIDS patient, AIDS victim, AIDS sufferer | HIV 陽性者に言及するときには、いくつかの用語は避けた方がいい。たとえば、エイズ患者は医学的な文脈に限るべきである(ほとんどの場合、エイズとともに生きる人は患者の役割にはない)。こうした用語は、その人が自らの生活をコントロールできず無力であるかのような印象を与える。HIV 陽性者を罪のない犠牲者(イノセント・ビクティム)と呼ぶことは(HIV 陽性の子供や医療が原因で HIV に感染した人に使われることがよくあるが)、他の理由で HIV に感染した人が何らかの罰を受けるべき人であるかのような誤解を与える。 人は PLHIV といった略語で呼ばれるべきではない。それは人間性を奪うことになる。そうではなく、名前もしくは集団は完全な名称を書くようにすべきである。ただし、表やグラフで簡潔に記載する必要があるときは、人口層の略語は可能である。 | 望まれる用語は HIV 陽性者、HIV 陽性の子供。HIV を持つ人は長い年数、生産的な日々を過ごすことができるという事実を反映しているからだ。HIV に影響を受けている人は、ケアをしている家族、被扶養者、または HIV 陽性者の状態に影響を受けている人を含む用語である。 |
| 売春婦、売春 [prostitute; prostitution] | こうした用語は、人が性を守るビジネスに携わっているという意味を含む。価値判断を示すために使うべきではない。 | 成人(18 歳以上)ならセックスワーク、セックスワーカー、コマーシャル・セックス、セックスサービスを守る、を使う。子供(18 歳未満)には、児童の性的搾取を使う。 |
| エイズのリスク [risk of AIDS] | HIV 陽性の人については、疾病の進行のリスクが増すような行為もしくは条件に言及しない限り使わない。 | HIV 感染のリスク、HIV にさらされるリスク |
| 安全なセックス [safe sex] | この用語だと完全に安全なことを指すように思える。より安全なセックスという用語の方が、HIV 感染のリスクを最小限に減らそうとする選択や行為をより正確に反映している。より安全なセックスのための戦略には、初体験の年齢を遅らせる、挿入を伴わないセックスを行う、男性用および女性用コンドームを一貫して正確に使う、性行為の相手の数を減らす、などが含まれている。 | より安全なセックス [safer sex] |
| 配偶者間の感染 [spousal transmission] | この用語は配偶者間で起きた感染に限定される。現実にはそうでないケースもある。 | 親密なパートナー間の感染 |

| 使うべきでない用語 | 背景的情報 | 推奨する用語 |
|---|---|--|
| 狙う [target] | 非参加型でトップダウンの方法になってしまうので、動詞としては使わないようにする(たとえば、男性とセックスをする男性を狙う)。好ましい用語としては、携わる(たとえば、プログラム策定に男性とセックスをする男性も携わる)、参加を求める(たとえば、流行への対応に男性とセックスする男性の参加を求める)、設計する(たとえば、男性とセックスをする男性のために、あるいは男性とセックスをする男性によって、設計する)。 | 従事する、参加を求める、焦点を当てる、のために設計する [engage, involve, focus, designed for and by] |
| ターゲット集団 [target populations] | ターゲット集団を用いるよりも、流行の対応の鍵となる集団と呼ぶべきだろう。しかし、ターゲットという用語は名詞で目的やゴールを指すときには使用可能である。 | 優先する集団、キーポピュレーション [priority populations, key populations] |
| 性病(VD);性感染症(STD) [venereal disease (VD); sexually transmitted disease (STD)] | 性感染症(STIs)の多くは症状を引き起こさず、感染した人が病気に気づきにくい。STIsは性行為により人から人へと微生物が移行することで広がる。伝統的なSTIs(梅毒や淋病)に加え、以下も含まれている: エイズの原因となるHIV;クラミジア・トラコマティス;子宮頸がん、陰茎部がん、肛門がんの原因になり得るヒトパピローマウイルス(HPV);陰部ヘルペス;軟性下疳、陰部マイコプラズマ;B型肝炎;トリコモナス症;腸感染症;寄生虫症(たとえば宿主の外に生息する微生物が原因の病気)。STIsの複雑さと範囲は1980年代以降、劇的に拡大している;微生物が原因で30以上の疾病、症候群が現在ではこの病気のカテゴリーに属している(2)。 | 性感染症(STI) [sexually transmitted infection (STI)] |

主な用語に関する背景説明

| | |
|--|---|
| accountability 説明責任 | アカウンタビリティは、人および組織が期待されていることに応え、資金の使用等に関して報告を行う責務である。また、行動とその結果について責任を果たす前提となる。 |
| acute malnutrition 急性栄養失調 | 急性栄養失調—消耗症ともいう—は急激な体重減少、または体重獲得の失敗によって起きる。子供の場合、栄養指標である体重身長比(WFH)か上腕周囲径(MUAC)で判断する。成人の場合は体格指数(BMI)か MUAC で判断する。妊娠、授乳期の女性は MUAC のみで判断する。また、衰弱や浮腫などの症状によっても総合的に判断できる。 |
| age-disparate relationships (see also intergenerational relationships) 年の離れた関係(世代間の関係も参照) | 年の離れた関係は、一般的に性的パートナー間で年齢差が 5 歳以上の場合に使われる(3)。 |
| AIDS エイズ | 後天性免疫不全症候群 |
| AIDSinfo エイズ・インフォ | エイズ・インフォはデータを視覚化し、広く伝えるツールである。エイズ関連のデータを各国内および世界で活用してもらうことを目指している。データは、WHO、UNICEF、UNAIDS、および主要保健機関などさまざまな情報源から分野を超えて集めている。たとえば UNAIDS から提供されたデータには、エイズ支出、疫学推計、政策・戦略・法律関連情報、各国政府や市民社会組織からの国別報告データなどが含まれている。プレゼンテーションや分析のための図表、地図などを迅速に作成するビジュアル化能力も高い。詳細は、 aidsinfo@unaids.org に問い合わせるか、以下のサイトで。 http://aidsinfoonline.org |
| antiretroviral medicines/ antiretrovirals (ARVs)/ antiretroviral therapy (ART)/ HIV treatment 抗レトロウイルス薬/ 抗レトロウイルス薬(ARVs)/ 抗レトロウイルス治療(ART)/ HIV 治療 | <p>抗レトロウイルス治療は高活性治療でウイルス複製を抑制して血液中のウイルス量を検出限界以下に下げ、HIV 感染症の進行を抑える。</p> <p>抗レトロウイルス治療の処方通常、3 種類以上の異なる薬を組み合わせる。ヌクレシオイド系逆転写酵素阻害剤(NRTI) 2 剤とプロテアーゼ阻害剤 1 剤、ヌクレシオイド系アナログ逆転写酵素阻害剤 2 剤と非ヌクレシオイド系逆転写酵素阻害剤(NNRTI)、または他の組み合わせなどである。最近では侵入阻害剤とインテグラーゼ阻害剤が選択肢に加わっている。最小限の方法として、単剤または 2 剤投与もあり得る。</p> <p>高活性という用語は通常、3 種類(あるいはそれ以上)の抗レトロウイルス薬の組み合わせにより目覚ましいウイルス学的かつ臨床的結果が示された場合に用いられる。しかし、高活性の基準があるわけではなく、すでに用語としてはほとんど使われていない。</p> <p>ARV は抗レトロウイルス薬を示す。薬そのものに言及するときのみ使われ、薬を使うことに対しては使わない。</p> <p>ARV や AZT と混同しやすいので、治療に関して言及する際には、ART は避け、抗レトロウイルス治療を使う方がいい。</p> |

| | |
|--|---|
| antiretroviral therapy prevention benefits 抗レトロウイルス治療の予防効果 | この用語は抗レトロウイルス治療が HIV 感染のリスクを下げるという意味で予防効果があることを示すときに使う。 |
| ARV-based prevention ARV による予防 | ARV による予防には、HIV 陰性の人の HIV 感染を防ぐために抗レトロウイルス薬を経口または局所使用すること（曝露前感染予防、あるいは曝露後感染予防など）、あるいは HIV 陽性者からの感染を減らすこと（予防としての治療）が含まれている。 |
| azidothymidine (AZT) or zidovudine (ZDV) アジドチミジン (AZT)、ジドブジン (ZDV) | AZT または ZDV は米食品医薬品局が 1987 年に初めて承認したヌクレシオド系逆転写酵素阻害剤であり、エイズの進行を遅らせるために使用される。 |
| behaviour change communication (BCC) (see also social change communication) 行動変容コミュニケーション (BCC) (社会変容コミュニケーションも参照) | 行動変容コミュニケーションは、コミュニティや個人に対し、目的に合わせたメッセージの普及や個人のリスク評価、対話、自立した行動などを促進する。健康の維持、増進に資する行動を促すためにさまざまな手段で双方向のコミュニケーションを保っている。 |
| biomedical factors 生物医学的要因 | 生物医学的要因とは人の生理およびそれと薬物との相互作用に関するものである。 |
| bisexual バイセクシャル | バイセクシャルの人とは、男性と女性の両方に引かれる人、両方とセックスをする人で、自らそのことを認めている人と定義されている。男性、女性両方とセックスをする男性、または女性という用語については、自らをバイセクシャルと認識していない集団や個人に使われる。 |
| caregiver or carer 介護者、介護人 | プロフェッショナルな介護提供者と区別し、介護者または介護人は病気になったり、障害を抱えていたりする家族、友人、パートナーを無償で介護する人を指す。HIV 陽性者を無償でケアする人も含まれる。 |
| client-initiated testing and counseling (CITC) (see also HIV testing services (HTS) and provider-initiated testing and counseling (PITC)) 利用者主導の検査と相談 (CITC) (HIV 検査サービス (HTS) と提供者主導の検査とカウンセリング (PITC) も参照) | 利用者主導の検査と相談 (CITC) は、HIV 検査とカウンセリングを自らの意思により、そのための施設で受ける個人の行動である。CITC は主要な 3 つの HIV 検査方式の一つであり、他の 2 方式は提供者主導の検査と相談 (PITC)、および HIV 自己検査 (HIVST) である。CITC はコミュニティ会場や特設会場で受けることもできる。 |

| | |
|--|---|
| combination HIV prevention コンビネーション HIV 予防 | コンビネーション HIV 予防とは、人権尊重に立脚し、十分な調査によってそれぞれの地域の流行を理解した上で、エビデンスに配慮した行動学的、生物医学的、構造的戦略を組み合わせることで最大限の成果を目指す感染予防策である。個人の感染予防に関しても、現状やリスク、使用可能な選択肢に従い、異なるツールやアプローチを組み合わせる（同時に使用する際にも、状況に応じて使い分ける際にも）という意味で使われる。 |
| community response コミュニティの対応 | コミュニティの対応（あるいはコミュニティシステムの対応）とはコミュニティ主導で HIV に対応するための活動の総称である。こうした活動はサービス提供に限定されるものではなく、以下のものも含まれる：市民社会やコミュニティネットワークによる政策アドボカシー、コミュニティのニーズに適したプログラム作成や投資；国の HIV 対策の成果に関するモニタリングや報告への市民社会の参加；ユニバーサルアクセスを阻む不平等や社会的要因に取り組むコミュニティシステムの活動。コミュニティシステムによるサービス提供には、コミュニティ主導の HIV 検査とカウンセリング、ピアによる服薬継続支援、家庭でのケア、ハームリダクションサービスの提供、キーポピュレーションへのコミュニティネットワークによるサービス提供などが含まれる。 |
| community systems コミュニティシステム | コミュニティシステムはひと言で言い尽くせるものではないが、一つの定義として「コミュニティメンバーやコミュニティに基盤を置く組織・集団の相互作用、調整、責任分担を通し、コミュニティの課題とニーズに対応するために使われているコミュニティ主導の構造とメカニズム」(4)ととらえることができる。コミュニティシステムは、非公式で小規模なことも、広範なネットワークや組織のこともある。 |
| community systems strengthening (CSS) コミュニティシステムの強化 (CSS) | <p>コミュニティシステムの強化 (CSS) は、コミュニティに基盤を置いた組織の育成、強化に貢献できる考え方の意味で使われる。保健サービスの提供体制の改善に必要な知識（とアクセス）を増やすためのものであり、通常は社会基盤やシステムの能力強化策、協力強化策、持続可能な資金確保策などが含まれる。</p> <p>CSS は情報が十分に伝わり、能力を持ち、調整が行き届いたコミュニティ、集団、構造作りを促進する。言い換えれば、コミュニティにおける対策はコミュニティが行うようにするための能力強化策と活動である。CSS は幅広いコミュニティのアクターを対象にし、効果を高める環境づくりを含め、コミュニティレベルでの長く持続可能な保健および他の施策に貢献できるようにすべきである。</p> <p>組織的アプローチとして、CSS は以下の分野でキーポピュレーションおよびコミュニティのアクターと組織が役割を果たせるようになることを目指している：HIV および関連分野のサービスと活動の企画、提供、モニタリング、評価；アドボカシーと政策立案；組織の管理と育成；能力強化；決定プロセスへの参加；説明責任と透明性。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>comprehensive sexuality education 包括的セクシャリティ教育</p> | <p>セクシャリティ教育は「科学的に正確で、現実を踏まえ、価値観を押しつけることのない情報を提供することで、性および人間関係について年齢的、文化的に適切なかたちで教える方法」と定義づけられている。「セクシャリティ教育は個人個人がセクシャリティのさまざまな側面に関し、自分自身で価値観や態度を考える力、判断力やコミュニケーション能力、リスク低減方法などを身につける機会を提供するものである」(5)。</p> <p>「包括的」に関しては「セクシャリティ教育のこうした方法により、若者が自らの性と生殖に関する権利を理解し、自分の健康とセクシャリティについて決定を行うための幅広い情報を提供し、スキルや価値観を養えるようにする。包括的セクシャリティ教育が若者に対し、禁欲のメッセージだけでなく、セーフターセックスを実践するための幅広い可能性について教える必要があることを理解しなければならない」(6)。</p> |
| <p>comprehensive social protection (see also HIV-related social protection, HIV-sensitive social protection, HIV-specific social protection and social protection) 包括的社会保障(HIV 関連の社会保障、HIV に配慮した社会保障、HIV に特化した社会保障、社会保障も参照)</p> | <p>包括的社会保障は、HIV 陽性者、女性、キーポピュレーションの権利を守るための法改正を含む政策やプログラムに対応するものだ。また、経済支援プログラムの投資効果の最大化などにも取り組んでいる。</p> |
| <p>concurrent sexual partnerships 同時期に複数の性パートナー</p> | <p>同時期に複数の性パートナーを持つ人とは、ある人と 2 回の性交を行う間に別の人も性交を行う人である。サーベイランスでは過去 6 カ月以内にそうした経験がある人を特定している。同時期に複数の性関係、同時期の関係、または簡潔に同時性ということもある。</p> |
| <p>condomless sex コンドームを使わないセックス</p> | <p>コンドームを使わないセックスでは、性行為は男性用または女性用コンドームで防護されない。以前はアンプロテクトド・セックスと言われていたが、いまはコンドームレス・セックスを使うことが多い。他の避妊手段で妊娠を防ぐこととの混同を防ぐためである。</p> |
| <p>contaminated injecting equipment 汚染された注射器具</p> | <p>薬物注射の器具、あるいは他の鋭利な医療用具、および医療以外の用具は、(HIV のような)感染する病原体を含んでいるときには、汚染されていると呼ばれる。</p> <p>「汚染されている」をえるのは物に対してであり、人に使ってはならない。</p> |

| | |
|--|--|
| Counseling カウンセリング | <p>カウンセリングは、患者と経験あるカウンセラー（倫理・行動綱領に従わなければならない）の間の動的なコミュニケーションにより、個人的、社会的、心理的な問題を解決するものである。HIV 感染の告知の際には、重要な個人的問題や不安、ストレス、将来の計画（たとえば、健康を保ち、治療を続け、他の人への感染を防ぐこと）などへの対処を助けることが目的となる。検査結果が陰性なら、患者が今後も HIV 陰性の状態を維持できるような意識とそのためスキルを得られるようにする必要がある。</p> |
| counselling, post-test 検査後のカウンセリング | <p>検査後のカウンセリングは検査結果を説明するために行う。リスク低減の情報も伝える。陰性だった人への感染予防手段の説明も含む。また、感染リスクの高い行動を取っている人、ウインドウ期間に検査を受けたと思われる人には、再検査を勧める。</p> |
| | <p>HIV 陽性だった人への検査後カウンセリングの目的は、結果を心理的に受け止め、利用できるサービス（治療とケアの選択肢も含む）についての理解を助けることだ。HIV 陽性者にとっては、パートナーへの HIV 感染防止手段をとり、感染についてパートナーと話を始める助けにもなる。ケアや支援のサービス紹介も必要である。抗レトロウイルス治療や結核関連のサービス、家族計画（該当する場合）なども含まれる。</p> |
| counselling, follow-up フォローアップのカウンセリング | <p>検査後カウンセリング以後のフォローアップは、患者が何に悩んでいるかを自覚できるよう助け、その悩みへの対応を支援することができる。セロディスコードなカップル（一人が HIV 陽性で、相手は陰性のカップル）の HIV 感染予防にはとくに、フォローアップのカウンセリングが重要である。また、妊娠可能な年齢の HIV 陽性女性の場合、母子感染予防のプログラムにつなぐ必要がある（子供の HIV 感染をなくし、母親が健康で生きていくには、それが鍵となる）。</p> |
| Country Coordinating Mechanism (CCM) 国別調整メカニズム (CCM) | <p>国別調整メカニズムはグローバルファンドが、各国で現場の自主性を高め、意思決定過程への参加を促進するために作った。国内での協力は、各国の優先ニーズに基づくグローバルファンドへの助成申請や事業の実施状況のモニターにも使われている。</p> |
| country dialogue 国別対話 | <p>包摂的で双方向的な方法を示すためにグローバルファンドが使う用語で、保健、人権、開発分野における各国内の既存のメカニズムを生かして話し合いを促す。グローバルファンドだけのものではないが、国別対話はグローバルファンドへの申請の前提であり、国別調整メカニズム (CCM) や実行者、パートナー、資金拠出者、政府、市民社会、キーとなるバルナラブルな集団、そしてグローバルファンドが参加すべきである。</p> |
| coverage rate カバー率 | <p>カバー率とは、ある時点におけるサービスや製品を受けている個人の割合である。分子はその時点でサービスを受けている人の数、分母は同じ時点でサービスを受ける資格がある人の数となる。一般的には調査して測定するが、サービスデータ（清潔な注射針を受けている人、抗レトロウイルス治療を受けている人など）を使うこともある。</p> |

| | |
|---|---|
| critical enablers クリティカル・イネーブラー(重要な活動) | クリティカル・イネーブラーとは「基本的なプログラムの効果的、効率的実施を助けるのに必要な活動」である(7)。プログラムがクリティカル・イネーブラーであるかどうかを判断するには「効果的に実施されていること、平等にカバーされていること、人権を尊重していること、プログラムの質が高いことなどを評価すべきである」。また、「社会的排除、疎外、犯罪化、スティグマ、不平等などサービス実施を阻む要因を克服すべきである」。 |
| cross-generational relationships 世代をまたぐ関係 | intergenerational relationships(世代間交流)を参照。 |
| development synergies 開発相乗効果 | 開発相乗効果は「HIV 対策にも良好な効果がある他セクターへの投資」である(7)。主要な開発分野の中には — 社会保障、ジェンダーの平等、保健システムのように — さまざまな相乗効果が期待できるものがある。 開発相乗効果は保健、開発の諸分野に広く影響をもたらす傾向があり、HIV に関しても大きな影響があるとはいえ、本来の目的は HIV 対策ではない。HIV 関連の利益を最大化し、被害の最小化を目指すことで、HIV にも配慮することになる。どんな効果が HIV に最も影響するのかは流行と社会の状況によってさまざまである。 |
| directly observed treatment, short course (DOTS) 直接監視下短期化学療法(DOTS) | DOTS は国際的に認められた結核治療戦略である。その名称にもかかわらず、直接服薬確認療法(DOT)は DOTS の一要素にすぎない。 |
| discrimination against women 女性に対する差別 | 「政治、経済、社会、文化、市民、その他あらゆる分野で、結婚しているかどうかに関わりなく、男女平等および基本的人権の観点から、女性による認識や楽しみや活動を傷つけ無効にすることを期待または目的にした性別に基づくあらゆる区別、排除、制限」(8)。 |
| dual protection (see also multipurpose technologies) 二重の予防(多目的技術も参照) | 二重の予防戦略は意図しない妊娠と性感染症(HIV を含む)の両方を防ぐことを目指している。 |
| elimination of mother-to-child transmission (eMTCT) 母子感染の排除(eMTCT) | 母子感染(MTCT)を参照。 |
| empowerment (see also women's empowerment) エンパワメント(女性のエンパワメントも参照) | エンパワメントは、人間、とりわけ女性を不利な立場に置く構造的な不平等を克服するための行動である。社会的、経済的エンパワメントは、差別や排除と闘い、福祉と資金への平等なアクセスを確保し、家庭内や地域、国レベルでの判断に加わるようになるための目標であり、プロセスでもある。 |

| | |
|---|---|
| enabling environment 権利を擁護する環境 | HIVに関して権利を擁護する環境はいくつかある。一つは法的な環境だが、性別、健康状態(HIV感染の有無を含む)、年齢、障害、社会的地位、性的指向、ジェンダー自認などに基づく差別を禁じる法律や政策があるだけでなく、実施しなければならない。人々は司法制度を、つまり権利侵害を訴え救済される制度を利用できなければならない。権利を擁護する社会環境とは、社会による保護の戦略(たとえば経済支援)が整えられ、知識や自覚、健康な行動選択を支える社会規範がある環境である。 |
| epidemic エピソード、流行 | エピソードは集団、コミュニティ、地域で同時期に極めて多くの人を巻き込む(あるいは巻き込む傾向のある)病気の状態を指す。集団は地理的な領域のすべての住民かもしれないし、学校や同様の施設、あるいは特定の年齢層や性別の人たち(地域内の子供や女性など)であることもある。エピソードは一地域に限定された(アウトブレイク)のこともあるし、より広範囲な(エピソード)のこともある、世界的に拡大する(パンデミック)のこともある。ひとつの人口層の中で常に見られる普通の病気はエンデミックと呼ばれている。 広く知られているエピソードの例としては、中世ヨーロッパのペスト(黒死病と呼ばれた)、1918-1919年のインフルエンザのパンデミック、そして最近のHIVの流行がある。HIVの流行は異なる型のエピソードが世界各地で広がるパンデミックと描写されることが増えている。 |
| epidemiology 疫学 | 疫学は、集団内における病気の原因、地理的な広がり、時間的分布、制御などを調べる科学研究である。 |
| equitable health care 公正な保健医療 | この用語はだれも差別されることのないようすべての人に対し、特別のニーズや状況に配慮した保健医療を提供することを指している。 |
| equivalence of health care 保健医療の公平性 | 刑務所等の収容施設における保健医療の公平性とは予防、治療、妊娠出産、苦痛緩和に関する保健医療サービスへのアクセスを他の人と同じ規則と基準で提供することを指す。 |
| extensively drug-resistant tuberculosis (often abbreviated as XDR-TB) 超多剤耐性結核(しばしば頭文字でXDR-TBと表記) | 超多剤耐性結核は、結核の原因になる細菌がイソニアジド、リファンピシン、フルオロキノロン、および少なくとも1種類の第2選択注射薬に耐性ができたときに起きる。XDR-TBの出現は、結核プログラムの管理をすべてのレベルで組織的に行う必要があることを示している。 |
| Fast-Track 高速対応 | 高速対応は流行を上回るペースで必要不可欠なHIV予防、治療対策と人権アプローチを遂行していくためにUNAIDSが採用している手法である。 |
| food by prescription (FBP) programming 食糧処方(FBP)プログラム | 食糧処方プログラムは、急性の栄養失調患者に特別な栄養食品による短期的な栄養補給を行い、患者の健康および治療状態の改善を目指す。通常はHIVのケアと治療プログラムまたは診療所と直接、提携して行う。 |
| full expression of demand 必要総額 | この用語はグローバルファンドが、当該国の条件の中で最大限の成果を引き出すため、技術的に適切で、焦点を定め、費用対効果が高く、効率的な疾病対策の必要額を把握する目的で導入した。 |

| | |
|--|--|
| <p>gay (see also men who have sex with men) ゲイ(男性とセックスをする男性も参照)</p> | <p>ゲイという用語は、同性に性的に惹かれること、同性間の性行為、同性間の文化的アイデンティティに言及している。個人またはグループが自らをゲイと認めない限り、男性とセックスをする男性と表現すべきである。</p> |
| <p>gay men and other men who have sex with men (see also gay; men who have sex with men) ゲイ男性および男性とセックスをする男性(ゲイ;男性とセックスをする男性も参照)</p> | <p>ゲイ男性および男性とセックスをする男性という用語は、ゲイと自認している人、いない人の両方を包含している。</p> |
| <p>gender (see also sex) ジェンダー(セックスも参照)</p> | <p>ジェンダーは男性あるいは女性であることに伴う社会的な性質や機会、女性と男性、少女と少年の関係、および女性間、男性間の関係を示す。こうした性質や機会や関係は社会的に作られ、社会化プロセスの中で学ばれていく。状況により変わり得るものでもある。ジェンダーはそれぞれの状況下で、男あるいは女であることについて、何が期待され、許され、価値を持つかによって決まってくる。女性と男性の間にはほとんどの社会で、求められる責任、行動、資源へのアクセスと管理権限、決定権に関し、差異と不平等がある(9)。</p> |
| <p>gender-based violence (see also violence against women) ジェンダーに基づく暴力(女性に対する暴力も参照)</p> | <p>ジェンダーという言葉が多くの言語では存在しないことに注意し、翻訳者はジェンダーとセックスの違いを表わす別の用語を考えなければならないこともある。2 2 たとえば、スペイン語訳ではジェンダーに正確に言及するには注意が必要だ。</p> |
| <p>gender-based violence (see also violence against women) ジェンダーに基づく暴力(女性に対する暴力も参照)</p> | <p>ジェンダーに基づく暴力は「ジェンダーに基づく不平等な力関係の再主張を試み、維持することを意図した暴力として描かれる」。身体的、精神的、性的な危害を加えようとする行為、そうした危害を加えるという威嚇、強制、自由の剥奪などが含まれる。</p> <p>「この用語は第一に女性に対する男性の暴力をジェンダーの観点からとらえようとした。したがって、女性に対する暴力と言われることもよくある。また、定義としては、社会に広がっているジェンダー規範に逆らう(あるいは従わない)ことを(たとえば女性のかっこうをしているといったことを)理由にした少年や男性、トランスジェンダーの人に対する暴力も含まれる」(10)。</p> |
| <p>gender equality 男女平等、男女共同参画</p> | <p>男女共同参画—または男女間の平等—は人権として広く認められている。すべての人は男性も女性も、ステレオタイプや硬直したジェンダー役割、偏見といったものの制限を受けずに自らの能力を開発し、選択する自由があるという考えに基づくものだ。男女共同参画の意味は、異なる行動や志望やニーズが男も女も平等に考慮され、尊重され、支持されなければならないということだ。また、資源や利益の配分、サービスへのアクセスに関し、ジェンダーに基づいて人を差別することはできないという考え方もある。男女共同参画は機会および結果の平等の有無で測られるであろう。</p> |
| <p>gender identity 性自認、性同一性</p> | <p>性自認とは、ジェンダーに関し個人の深い内面的体験である。誕生時に割り当てられた性別と一致することもあるし、一致しないこともある。身体に関する個人的な感覚—自由に選べれば身体の外見や機能を医学的、外科的、あるいは他の手段で修正することもある—、および服装、言葉、しぐさなどのジェンダー表現のどちらでもあり得る。</p> |

| | |
|---|--|
| gender-related barriers ジェンダー関連の障壁 | この用語は社会的に作られた性役割に基づき、個人や集団に対するサービスへのアクセスや参加、機会を妨げる法的、社会的、文化的、または経済的障壁を指す。 |
| gender-responsive (see also gender-sensitive) ジェンダーを考慮した(ジェンダーに配慮した、も参照) | ジェンダーを考慮したという用語は通常、他の単語とともに使われる(たとえば、ジェンダーを考慮した統治、ジェンダーを考慮した戦略、ジェンダーを考慮した治療など)。意味はジェンダーに配慮したと同じである。 |
| gender-sensitive (see also gender-responsive) ジェンダーに配慮した(ジェンダーを考慮した、も参照) | ジェンダーに配慮した政策、プログラム、研修規格は、男性も女性も社会のアクターでありながら、異なる、そしてしばしば不平等な扱いを受け、結果として待遇やニーズ、利益、優先順位などが異なる(そして時には矛盾する)ことがあるとの認識に立っている。 |
| gender-specific 男女別の | ジェンダースペシフィックという用語は女性あるいは男性向けに企画、実施されるプログラムや方法を指す形容詞である。ジェンダースペシフィックなプログラムは、歴史的な観点から特定のジェンダーが社会的、政治的、経済的な不利益を受けているとの分析が示されれば正当化されることもある。 |
| gender-transformative ジェンダー変革の | ジェンダー変革の HIV 対策とは、HIV に関し男女別の課題に取り組むだけでなく、既存の構造や制度、性別の関係を男女共同参画の観点から変えることを目指している。 ジェンダーの違いを認識するだけでなく、ジェンダー規範にあてはまらない人(トランスジェンダーの人およびゲイ男性その他の男性とセックスをする男性を含む)の立場を弱くするようなジェンダー規範やステレオタイプを変えることを求めている。より平等な役割や関係を探ることでジェンダー規範の有害な側面を検証しようとするものでもある。 |
| Global AIDS Response Progress Reporting (GARPR) 世界のエイズ対策進捗状況報告(GARPR) | 世界のエイズ対策進捗状況報告(GARPR)は、GARPR 指標(以前は UNGASS 指標)により各国の年間進捗報告を集約するプロセスである。指標は各国の国内対策の現状と目標達成度を判断するために設計された。こうした指標を集約することは、2011 年の HIV/エイズ国連政治宣言およびミレニアム開発目標の実現状況を含め、世界のエイズ対策への理解を助けている。 |
| Global Fund concept note グローバルファンド・コンセプトノート | 世界エイズ・結核・マラリア対策基金(グローバルファンド)が三大感染症や保健およびコミュニティのシステム強化のための分野横断的支援に対する新規資金申請を受ける際に求める書類のひとつ。 |
| Global Fund Funding Model グローバルファンド資金供与モデル | グローバルファンドは三大感染症への効果を高めるため資金供与モデルを変えた。成果が予測可能であり、野心的な見通しのある計画を重視し、短い期間で円滑かつ柔軟に対応できるよう設計されている。 |
| greater involvement of people living with HIV/AIDS 3 (GIPA) HIV 陽性者のより積極的な参加 3(GIPA) | 42 カ国の保健大臣などが参加して 1994 年にパリで開かれたエイズサミットでは、最終宣言に HIV 陽性者のより積極的な参加原則(GIPA)が盛り込まれた。詳細は以下で。 http://data.unaids.org/pub/BriefingNote/2007/JC1299_Policy_Brief_GIPA.pdf 3 GIPA という用語は広く使われているが、UNAIDS はすでに HIV/AIDS という用語の使用を奨励してはいない。したがって GIPA の A は実際には HIV 陽性者の頭文字を表わすものである。 |

| | |
|---|---|
| harm reduction ハームリダクション(被害軽減) | <p>ハームリダクションとは、向精神物質の使用に伴う健康、社会、経済被害を減らすための政策、プログラム、アプローチの包括的パッケージを指す。このパッケージの要素は以下の通りである:注射針・注射器プログラム;オピオイド代替治療;HIV 検査とカウンセリング;注射薬物使用者への HIV ケアと抗レトロウイルス治療;性感染の予防;アウトリーチ(注射薬物使用者とその性パートナーへの情報提供、教育、コミュニケーション);ウイルス性肝炎の診断、治療、ワクチン接種(可能なら);結核予防、診断、治療。</p> <p>たとえば、注射薬物使用者は、消毒していない注射器具を使えば、血液感染症(HIV など)に感染しやすくなる。したがって適切なかたちで消毒した注射針や注射器を供給することは血液感染のリスクを減らすハームリダクションの手段になる。</p> |
| harmful gender norms 有害なジェンダー規範 | <p>有害なジェンダー規範とは、女性および男性に直接または間接的な被害をもたらすジェンダーの社会的、文化的規範である。女性の HIV 感染のリスクを高めたり、感染を防ぎにくい状態にするような規範、あるいは男性がケアを分担したり、情報や治療や支援を求めたりするのを妨げる規範はその実例である。</p> |
| health care ヘルスケア | <p>ヘルスケアは予防や治療、苦痛の緩和といったサービスおよび個人、集団に提供されるインターベンションが含まれる。</p> |
| health education (see also counselling, behaviour change communication) 保健教育(カウンセリング、行動変容コミュニケーションも参照) | <p>保健教育とは、個人が情報を十分に得たうえで自らの健康改善に取り組めるよう正確で適切に文脈(年齢、性別、文化など)を踏まえた健康に関する情報を提供することである。</p> <p>HIV に関する保健教育とカウンセリングは密接に結びついており、同時に行われることもある。保健教育は、人々が性行動や健康のための行動について情報を得た上で判断できるようにすることが目的なのに対し、カウンセリングは(HIV 陰性の人には)行動変容の課題を探り、(HIV 陽性の人には)前向きに生きること、不安やストレスへの対処法、HIV 予防や治療の継続を妨げる要因への対応などを探っていく側面が強い。</p> |
| health sector 保健部門 | <p>保健部門には多数の関連組織やサービスが含まれている。公的および民間の健康サービス(健康増進、疾病予防、診断、治療、ケアなど)、保健省、保健関連の非政府組織、コミュニティグループ、保健専門家の組織などである。また、製薬業界や教育機関など保健システムに直接の影響をもたらす組織も含まれる。</p> |
| health system 保健システム | <p>保健システムは、主に保健の増進、回復、維持を目指すすべての組織、人、行動からなる。予防、治療、ケア、支援のサービスを必要とする人にそのための製品と情報を効果的、効率的に提供できるように助ける広範な個人、機関、行動が含まれている。</p> |
| health systems strengthening 保健システム強化 | <p>保健システム強化は、安全で質の高いサービスを平等に提供するために保健システムの提供能力を改善するプロセスを指す。強化が必要な分野は主に、サービス配送システム、保健人材、必需品と技術、保健財政システムである。指導力、ガバナンス、説明責任の強化も必要だ。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>HIPC Initiative: Heavily Indebted Poor Countries Initiative 重債務貧困国 (HIPC) イニシアティブ</p> | <p>重債務貧困国 (HIPC) イニシアティブは、世界の最貧困国を支援する国際的な債務救済の仕組みである。自由に使える資金を増やし、その資金を基本的な人間開発 (基本的な医療ケアなど) に優先的に向けることで、対象国のミレニアム開発目標 (MDGs) 達成を助けるものだ。世界銀行と国際通貨基金 (IMF) が 1996 年に開始し 99 年に拡充をはかった結果、いくつかの最貧国は HIPC イニシアティブで借金の返済から解放され、利子の支払いに回されていた貴重な資金を人間開発に活用できるようになった。</p> |
| | <p>2012 年 1 月現在、HIPC イニシアティブは、サハラ以南のアフリカの 33 カ国を含め、世界の 39 カ国が債務救済を受ける可能性があると考えている。イニシアティブには、債務の救済 / 中止および保健と教育に焦点を当てた構造的・社会的な政策改革が含まれている。貧困削減戦略計画と HIPC イニシアティブの合意の中で、HIV はとくに重視すべき項目となっていることから、HIV 対策資金の増額が強く期待されている。</p> |
| <p>heterosexual 異性愛</p> | <p>異性愛という用語は、異性とセックスをする人、異性に惹かれる人に言及するときに使われる。</p> |
| <p>highly active antiretroviral therapy (HAART) (see antiretroviral medicines/ antiretrovirals (ARVs)/ antiretroviral therapy (ART)/ HIV treatment) 高活性抗レトロウイルス治療 (HAART) (抗レトロウイルス薬 / 抗レトロウイルス剤 (ARVs) / 抗レトロウイルス治療 (ART) / HIV 治療も参照)</p> | <p>HAART は抗レトロウイルス薬を組み合わせる治療法を言う。一緒に使うことで、HIV の複製を防ぎ、ウイルス量を抑えることができる。いまは ART が使われることが多く、HAART という表現はもう、ほとんど使われていない。</p> |
| <p>HIV cure (functional or sterilizing) HIV 完治 (機能的治癒または完全治癒)</p> | <p>完全治癒は、レザバー細胞内のプロウイルスを含め、体内から生きている HIV がまったくなくなる状態を示す理論的なコンセプトである。</p> <p>機能的治癒は、がん治療における寛解と同様のもので、現在では治癒という用語よりも寛解を使う論文の著者もいる。機能的治癒は、ウイルスが現在進行形で複製されているエビデンスがなく、抗レトロウイルス治療をやめてもその状態が続くことを意味している。</p> |
| <p>HIV-negative (seronegative) HIV 陰性 (セロネガティブ)</p> | <p>HIV 陰性 (セロネガティブともいう) の人とは、血液検査で HIV が存在するエビデンスが認められない (たとえば HIV 抗体がない) 人のことだ。感染はしているが、検出可能な量の抗体ができるまでのウィンドウピリオドの人も、陰性になる可能性がある。</p> |
| <p>HIV-positive (seropositive) HIV 陽性 (セロポジティブ)</p> | <p>HIV 陽性 (またはセロポジティブ) の人とは血液検査または歯肉溝滲出液検査 (通常は唾液検査として知られる) で HIV 抗体が検出された人である。検査結果は偽陽性であることが時折ある。とりわけ生後 18 カ月未満は、母胎から抗体のみを受け継いでいて偽陽性になることがある。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>HIV-related disease HIV 関連疾病</p> | <p>HIV 感染の症状は感染直後および免疫低下開始後の両方で起きる。ウイルスは感染開始時に粘膜表面に接触すると、受け入れやすい標的細胞を見つけ、そこから大量増殖が可能なリンパ節へと移動していく。このことがウイルス血症(血流中にウイルスが進入していること)をもたらし、ウイルスを体内に広く散布することになる。この段階で風邪のような症状が出る人もいるが、その場合には通常、HIV 関連疾病というより一次感染症状とか急性感染症状と呼ばれている。</p> |
| <p>HIV-related social protection (see also comprehensive social protection, HIV-sensitive social protection, HIV-specific social protection and social protection) HIV 関連の社会保障(包括的社会保障、HIV に配慮した社会保障、HIV に特有の社会保障、社会保障も参照)</p> | <p>この用語は、社会全体を対象にしつつ HIV にも対応できるようなプログラムを指す。たとえば、HIV 陽性率の高い国の高齢層(60 歳以上)を対象にしたプログラムなどだ。この場合、HIV 関連のケア提供に課題を抱えた年配のケア提供者も対象になる。</p> |
| <p>HIV-sensitive social protection (see also comprehensive social protection, HIV-related social protection, HIV-specific social protection and social protection) HIV に配慮した社会保障(包括的社会保障、HIV 関連の社会保障、HIV に特有の社会保障、社会保障も参照)</p> | <p>HIV に配慮したアプローチでは、HIV 陽性者その他の社会的に弱い立場の人が一緒にサービスを提供される; 共通の需要がある人を排除しないようにするためだ。HIV だけに焦点を絞ったアプローチで懸念されるスティグマ化を回避できるという点では、最も好ましいアプローチである。</p> <p>HIV に配慮した社会保障アプローチには以下のものが含まれる: HIV 陽性者と最も社会的に弱い立場の人への現金・食糧・日用品の提供を通じた財政支援; 適正な価格による治療・保健・教育などの良質なサービスへのアクセス; 最も社会的に弱い立場に置かれ、排除されやすい人たちのニーズを満たす(そして権利を守る)政策・法律・規制。</p> |
| <p>HIV-specific social protection (see also comprehensive social protection, HIV-related social protection, HIV-sensitive social protection and social protection) HIV に特有の社会保障(包括的社会保障、HIV 関連の社会保障、HIV に配慮した社会保障、社会保障も参照)</p> | <p>HIV および HIV 陽性者、HIV に影響を受けている人のみに焦点を当てたプログラムを指す。HIV に関するサービスは無料で提供され、そうしたサービスにアクセスするよう資金面でのインセンティブも提供される。例としては、サービスにアクセスするための費用の払い戻し、抗レトロウイルス治療や結核治療を受けている HIV 陽性者が治療を継続できるようにするための食糧・栄養補給の無料提供などがある。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>HIV testing services (HTS) (see also client-initiated testing and counselling (CITC) and provider-initiated testing and counselling (PITC)) HIV 検査サービス(利用者主導の検査とカウンセリング CITC、提供者主導の検査とカウンセリング PITC も参照)</p> | <p>HIV 検査は治療とケアの入口であり、男性の割礼手術や子供の新規感染の排除、抗レトロウイルス治療の予防活用(曝露前感染予防、曝露後感染予防を含む)など HIV 予防へのユニバーサルアクセスの拡大にとっても重要である。</p> <p>HIV 検査サービス(HTS)という用語は、HIV 検査とあわせて提供すべきサービスのすべてを含んでいる。HIV 検査は以下の 5 つの C の枠組みにおいて実施すべきである: 同意 (consent)、守秘 (confidentiality)、カウンセリング (counselling)、正確な検査結果 (correct test results)、予防・ケア・治療への接続 (connection/linkage to prevention, care and treatment)。</p> |
| <p>HIV treatment cascade HIV 治療カスケード</p> | <p>HIV 治療カスケードは、HIV 陽性者が治療を受け、体内のウイルス量を検出限界以下に抑えるまでの一連の事象に言及して使われる。カスケードの各段階で、HIV 陽性者の治療普及における目標と現実とのギャップがどこにあるのかを把握するため、達成できている人の数を推計していく。この方法は、HIV 陽性者集団におけるウイルス量の抑制を果たすには、すべての段階に焦点を当てる必要があることを強調している。</p> <p>HIV 治療カスケードの各段階は以下の通りである: HIV 陽性者総数; 医療ケアにつながった陽性者数; HIV 治療を開始した人の数; 治療を継続している人の数; 最終的に血液中の HIV が検出限界以下に抑制できている人の数。</p> |
| <p>HIV vaccine HIV ワクチン</p> | <p>ワクチンは体内で病気と闘うための免疫システムが働くように教える物質である。HIV ワクチンは、HIV を攻撃する抗体や細胞を効果的に作り、体内の免疫反応を引き出す。</p> <p>人の HIV 感染のリスクを減らすための最初のワクチンは、タイで臨床試験が行われ、2009 年に報告された RV144 である。このワクチンを投与された人はプラセボ(偽ワクチン)を受けた人よりも HIV 感染の確率が 31%低かった。Pox-Protein 官民パートナーシップ(P5)は RV144 の知見に基づき、計画が立てられている。追加的なワクチン投与と異なるアジュバント(補強剤)によって防護レベルと持続性を高めようとしているのだ。</p> <p>予防ワクチンは HIV 陰性の人の HIV 感染を防ぐことを目的としている。一方、治療ワクチンは HIV 陽性者の免疫を強化し、ウイルスを制御するのを助ける。</p> |
| <p>homophobia ホモフォビア、同性愛嫌悪</p> | <p>ホモフォビアは、同性愛や同性愛者に対する恐怖または拒絶(あるいは嫌悪)の感情である。それはスティグマを助長するような態度や差別的な行動のかたちをとり、すべての社会のさまざまな状況で存在している。小学校の頃から始まっていることも多い。</p> |
| <p>homosexual ホモセクシャル、同性愛</p> | <p>ホモセクシャルという言葉はギリシャ語の homos に由来している。意味は同じである。同性とセックスをする人、あるいは同性に性的に惹かれる人を指す。男性を意味するラテン語のホモと混同すべきではない。</p> |
| <p>human immunodeficiency virus (HIV) ヒト免疫不全ウイルス(HIV)</p> | <p>HIV は免疫のシステムを弱め、最終的にはエイズに導くウイルスである。</p> |

| | |
|---|---|
| human immunodeficiency virus type 1 (HIV-1) ヒト免疫不全ウイルス 1 型 (HIV-1) | HIV-1 はエイズの病原性のある(原因となる、あるいは病気の原因に寄与する)レトロウイルスである。レトロウイルス中のレンチウイルスというグループに分類されている。 ほとんどのウイルス(およびすべての細菌、植物、動物)の遺伝子情報は DNA にあり、特定のタンパク質によって RNA に転写される。HIV のようなレトロウイルスの遺伝子物質は RNA そのものである。ウイルスの RNA は DNA に逆転写され、宿主細胞の DNA に挿入されて、宿主細胞が本来の機能を果たすのを妨げ、HIV の工場に変えてしまう。 |
| human immunodeficiency virus type 2 (HIV-2) ヒト免疫不全ウイルス 2 型 (HIV-2) | HIV-2 は HIV-1 と非常に近いウイルスであり、エイズの原因になることも分かっている。最初は西アフリカで分離された。HIV-1 と HIV-2 は、ウイルス構造も感染経路も日和見感染症を招くこともよく似ているが、感染の広がっている地域と発症、死亡率は異なる。HIV-1 に比べ HIV-2 は主に西アフリカで見つかり、臨床経過は進行が遅く、深刻度も小さい。 |
| human rights-based approach (HRBA) 人権を重視したアプローチ (HRBA) | 人権を重視したアプローチは、プロセス(参加、平等、説明責任に関する権利)も結果(健康、生活、科学の進歩に関する権利)も、ともに人権に関する国際規範と原則を踏まえ、HIV の流行に対応する考え方の枠組みである。HRBA は、権利保持者が自らの権利の実現を求める力と義務を果たす能力を強化することで、HIV 対策を妨げる差別的な行為や不公正な権力の行使をなくすよう取り組んでいく。 |
| incentive funding インセンティブファンディング | 高い効果が上がり、よく機能し、野心的だが実現可能な目標の設定を促すようなプログラムへの資金投資が可能になるようグローバルファンドが導入した用語である。 |
| Incidence 発生数、発生率 | HIV 発生率は、特定の期間における感染の可能性のある人の中での新規 HIV 感染数で表わされる。累計発生率は特定の集団における一定の期間における新規症例で表せるだろう。UNAIDS は 15~49 歳、0~14 歳の年間発生数の推計値を報告している。 |
| intergenerational relationships (see also age-disparate relationships) 異世代間の関係(年の離れた関係も参照) | 異世代間の関係とは、10 年以上年齢が離れたセックスパートナー間の関係を指すことが多い(3)。 |
| intersex インターセックス | インターセックスの人とは、男性、女性の生物学的特徴(一次、二次性徴)をともに持つ人を指す。 |
| intimate partner transmission 親密なパートナー間の感染 | 親密なパートナー間の感染(正確にはフルネームで、親密なパートナー関係のもとの HIV 感染)とは、継続的な性パートナーからの感染を指す。そのパートナーが注射薬物の使用者だったり、他の相手とセックスをしたりしていた結果、相手も感染するケースである。そのセックスの相手にはセックスワーカー・注射薬物使用者・ゲイ男性およびその他の男性とセックスをする男性といった人も含まれる。 |
| intimate partner violence (IPV) 親密なパートナーの暴力 (IPV) | 親密なパートナーの暴力は、「親密な関係の中で、身体的、性的、心理的被害の原因となる行為であり、身体への攻撃、性的な強制、心理的虐待を含む」(10)。 女性に対し最もよくあるかたちの暴力の一つであり、世界全体では 3 人に 1 人の女性が生涯に IPV を経験している(11)。 |

| | |
|---|---|
| <p>investment approach 投資アプローチ</p> | <p>投資アプローチは HIV 対策への投資の成果を最大化する手法である。対策を最も必要とする地域や集団に集中的に対応することで最大の成果をあげ、平等性を重視した対策の組み合わせに向けて資金を配置することを目指している。</p> <p>投資アプローチは、HIV 予防、治療、ケア、支援のプログラムの効率性を高めるものでもある。それは経験に基づくエビデンスを活かし、対策の優先事項と資金ギャップを把握するモデル作りを進めること、および各国がプログラム資金を継続的に確保することで可能になる。</p> <p>最後に投資アプローチは政府による国内資金とドナーからの援助をつなげ、統一的な中長期資金戦略の枠組みを提供することになる。</p> |
| <p>investment case 投資ケース</p> | <p>投資ケースは HIV に関する投資効果を高めるために参照する事例記録である。基本的には国の HIV 対策の長期的(典型的には 10 年以上)成果が最大になるような投資リターンに関する記述である。流行状況と対策の内容を要約し、必要額を示しつつ、優先順位と焦点を当てるべき集団や地域について説明している。また、HIV サービスのアクセスや配送、サービスの質と効率についても概括している。最後に国内資金の拡大も含め、現実的かつより持続可能な HIV 対策資金の確保策についても分析(と計画)を示している。</p> <p>投資ケースは対策における国のリーダーシップを示す手段である。財務省、保健省、開発計画の担当省庁、市民社会、HIV 陽性者、国際パートナーなど多様な関係者を統合する能力が必要だ。対策が抱えるギャップと問題点を把握し、解決策を生み出す方法を表わしている。投資ケースは国の戦略計画とは異なり、ニーズを集中的かつ意欲的に把握し、達成期限を明確に設定してもいる。</p> |
| <p>key populations (see also young key populations) キーポピュレーション(若いキーポピュレーションも参照)</p> | <p>UNAIDS はゲイ男性および他の男性とセックスをする男性、セックスワーカーとその客、トランスジェンダーの人びと、注射薬物使用者をキーポピュレーションの主要 4 集団と考えている。これらの集団は懲罰的法律やスティグマの強い警察に苦しめられていることも多く、最も HIV 感染のリスクにさらされやすい集団でもある。どの国でも、HIV 対策の成功にはこの人たちの参加が不可欠である。各国は、流行のキーであり、対策のキーでもある集団を定義し、疫学的、社会的文脈に基づいて対応する必要がある。</p> <p>上記 4 集団以外に対してもキーポピュレーションの用語を使う機関はある。たとえば受刑者や監禁されている人びとはとりわけ HIV に感染しやすい状態にある;適切なサービスを受けられないことが多く、この人たちをキーポピュレーションとして扱う機関もある。</p> <p>より高いリスクにさらされているキーポピュレーションについてはもっと広い意味で使われることもある。HIV 感染の高いリスクにさらされている人は法的、政策的な環境にかかわらず、対象に含めているのだ。主要 4 集団に加え、HIV 陽性者、その陰性のパートナー、特定の地域に関連するかも知れない集団(南部アフリカの若い女性、アフリカの湖岸地域の漁師と女性、長距離ドライバー、移住人口層など)も対象になるかもしれない。</p> |
| <p>know your epidemic, know your response 流行を知り、対策を知る</p> | <p>UNAIDS は個々のデータ分析を HIV 対策に活用してプログラムを計画する手法を強調するため「流行を知り、対策を知る」という表現を使う。</p> |

| | |
|--|--|
| latency 潜伏 | <p>この用語は、活動を休止または休息して(潜んで)いる状態で体内に存在するウイルスを表わしている。潜伏ウイルスはウイルスを生産することではなく、宿主体内のレザバーと呼ばれる細胞プールに存在している。再び覚醒して活動を開始するまでのかなり長い間、観察可能な症状の原因になることもない。</p> <p>HIV は秘かにレザバー細胞の中で潜伏し、抗レトロウイルス治療に対しても生き延びることができる。こうした HIV が存在しているので、抗レトロウイルス治療は生涯にわたって続けなければならない。</p> |
| lesbian (see also women who have sex with women (WSW)) レズビアン(女性とセックスをする女性(WSW)も参照) | <p>レズビアンは他の女性に惹かれる女性である。女性とセックスをするかもしれないし、しないかもしれない。また、女性とセックスをする女性はレズビアンであるかもしれないし、ないかもしれない。その個人または集団がレズビアンとして自ら認識することがなければ、女性とセックスをする女性という用語を使うべきだ。</p> |
| lesbian, gay, bisexual, transgender and intersex people (LGBTI people) レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、インターセックスの人びと (LGBTI の人びと) | <p>可能などときには頭文字による略称は避けるようにしたいが、LGBTI(もしくは LGBT)はセクシャリティまたはジェンダー自認の多様性を強調する表現として認識を得ている。</p> |
| Location ロケーション | <p>ポピュレーションとロケーションを参照。</p> |
| loss/lost to follow-up 追跡不能 | <p>この用語は臨床試験に積極的に加わっていた患者／研究参加者がある時点で消息が分からなくなったときに使われる。なんらかの保健サービスや商品を受ける登録をしていたのに、期間終了まで続けず、途中でケア／治療からドロップアウトしたときにも使われる。</p> |
| masculinities 男らしさ | <p>「こんなとき男はいかに行動すべきかに関して、社会的に作られた定義および認められている見方、考え方。男らしさはジェンダー関係によって組み立てられる行動様式であり、時代によって変わることもある。その作成および再生は、社会の利害と変革の方向に影響を与える政治的なプロセスである」(12)。</p> |

| | |
|--|--|
| maternal mortality 妊産婦死亡 | <p>妊産婦死亡は「妊娠中もしくは妊娠期間、場所に関わりなく妊娠終了後 42 日以内に妊娠関連か妊娠によって悪化したあらゆる原因による女性の死亡、もしくは偶発的な事故や事件以外の管理上の問題による死亡を指す」(13)。</p> <p>HIV 感染による死亡に関しては、妊娠、出産、産褥期に死亡したことを示す必要がある。妊娠関連の死亡という用語は、妊娠によるものでない場合でもこの期間の死亡は妊娠が原因であるかのような誤解を与えかねないので、使うべきではない。以下が正確な用語である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HIV 陽性女性の直接妊産婦死亡 HIV 陽性女性が基礎的な産科学的原因で死亡したときに使用される。妊産婦死亡のカテゴリーに入る。 ・HIV により悪化した間接的妊産婦死亡 HIV 陽性の妊婦の容体が HIV 感染による影響で悪化し、死亡したときに使用される。妊娠と HIV 感染の関係が死亡の基礎的な原因になっている(国際疾病分類 ICD コード O98.7)。妊産婦死亡のカテゴリーに入る。 ・妊娠・出産・産褥期の HIV 関連死亡 基礎的な死亡原因がエイズ関連疾病である(ICD コード B20-24)ときに使用される。妊産婦死亡のカテゴリーに入らない。 ・妊娠・出産、産褥期の HIV を伴った死亡(要約語) HIV 陽性女性の直接妊産婦死亡、HIV により悪化した間接的妊産婦死亡、妊娠・出産・産褥期の HIV 関連死亡の全体を示す。 |
| men who have sex with men (see also gay) 男性とセックスをする男性(ゲイも参照) | <p>男性とセックスをする男性は、女性とのセックスの有無に関わりなく、あるいは個人的または社会的なゲイ、バイセクシュアルの自認の有無に関わりなく、男性とセックスをする男性を指す。自らは異性愛者であると自認しつつ他の男性とセックスをする男性も含む点で有用な概念である。</p> <p>男性とセックスをする男性に言及するときには、MSM のような略称は人間性を奪うことになるので、避けるべきである。</p> <p>ただし、表やグラフで短く表記せざるを得ないときには、集団名に略称を使うことはある。</p> |
| microbicides マイクロビサイド | <p>マイクロビサイドは感染を防ぐ障壁として局所的に使う製品を示す一般的用語である。クリーム、膣や直腸用のジェル、リングなどのかたちをとり、抗レトロウイルス薬や他の抗ウイルス剤を含むこともある。</p> |
| migrant worker 移住労働者 | <p>移住労働者という用語は、自国外で働き報酬を得ている(あるいは得た)人を指す(14)。</p> <p>HIV 流行の観点からは、季節労働を含む国内移住者が重要な国もある。</p> |
| migration and forced displacement 移住と強制移住 | <p>移住という用語は主に経済的な理由による移住者を指すのに対し、強制移住は亡命希望者、難民、国内避難民、国を失った人びとに適用される。</p> <p>人道危機下の集団という用語は、強制的に移住させられた人や危機的な環境に置かれたまま移住できない人を指す。</p> |
| Millennium Development Goals (MDGs) ミレニアム開発目標(MDGs) | <p>2000 年 9 月の国連ミレニアムサミットでは 8 目標が合意された。目標 6 は HIV および他の感染症の拡大を止め、縮小に転じることを目指しているが、他の目標も進展しなければ HIV 対策は大きく妨げられる; 逆に他の目標も HIV の流行のために達成できなくなる。詳細情報は以下を参照。 www.un.org/millenniumgoals</p> |

| | |
|---|---|
| mobile worker 移動労働者 | 移動労働者は、さまざまな理由で短期に何回も国境を越えて働きにでる人および国内で移動して働く人を総称する。もともとの家は変えずにそうしている人たちだ。 |
| | 移動労働者には、仕事で移動が必要な幅広い職種が含まれる。通常は定期的または継続的に移動を行う—巡回パターン—もあるし、2 カ国以上にまたがることもある。通常の住所から離れている期間はさまざまである。 |
| modes of transmission 感染様式 | 感染様式は、感染様式別の HIV 発生数研究の略語である。各国が感染様式別に HIV 発生数を推計するのを助けるために UNAIDS が開発した疫学モデルについて言及している。HIV 陽性率、性感染症有病率、リスク行動、感染確率など生物学的情報と行動学的情報を合体させたモデルである。国の資金配分の現状評価とあわせ、利用可能な疫学的データとプログラムからのデータを検証、分析し、感染様式モデルによる知見と比べることで、現在の対策の効果を判断し、政策決定を行う助けになる。このプロセスは、「流行を知り、対策を知る」や「あなたの対策を仕立てる」などとも言われる。 |
| mother-to-child transmission (MTCT) 母子感染(MTCT) | MTCT は母子感染の略称である。また、PMTCT は母子感染予防の略称で、子供の HIV 新規感染をなくし、母親が生存し、家族の健康を維持するため4項目の戦略をあげている。出産可能年齢の女性の HIV 感染予防を助ける(項目 1); 家族計画に必要なものを整える(項目 2); 妊娠、出産時の HIV 感染を防ぐために抗レトロウイルス薬を予防投与する(項目 3); 母親や家族へのケア、治療、支援を提供する(項目 4)の4項目である。 |
| | PMTCT は項目 3 の抗レトロウイルス薬の予防投与に限られるかのように誤解されることがよくある。妊婦に対するスティグマを避けるため、親から子への感染、または垂直感染といったより包摂的な用語を使う国もある。女性の HIV 感染における父親／男性パートナーの役割を認識し、HIV 予防に男性が積極的に関与するよう促すためだ。ただし、母子感染の排除(eMTCT)といった用語をいまなお使う国もある。UNAIDS は4項目のプログラムを重視する立場から、子供の HIV 新規感染の排除(または阻止／終結)と母親の生存という用語を選択している。略称はない。 |
| | HIV 治療および予防目的の抗レトロウイルス薬使用に関する WHO の 2013 年ガイドラインは、妊婦および母乳保育を行う女性には2つのオプションを推奨している;(1)CD4 値や臨床症状にかかわらず、HIV 陽性の妊婦および母乳保育を行う女性のすべてに生涯にわたって抗レトロウイルス治療を提供する;(2)母子感染のリスクがある期間だけ、HIV 陽性の妊婦および母乳保育を行う女性に抗レトロウイルス治療を提供し、その後は自らの健康を保つために治療が必要な女性には、生涯にわたり抗レトロウイルス治療を続けられるようにする。これらの治療オプションはいまも通常、オプション B+、およびオプション B とそれぞれ呼ばれている。 |
| | 治療目的の ART を必要としない母親(母子双方への治療ということではなく)に対し予防投与を行うオプション A については、いまなお採用している国もあるが、WHO はすでに推奨していない。 |
| multidrug-resistant tuberculosis (MDR-TB) 多剤耐性結核(MDR-TB) | 多剤耐性結核(MDR-TB)は、標準的な抗結核療法の中核となる2つの薬剤、少なくともイソニアジドとリファンピシンの双方に耐性をもつ細菌によって起こる薬剤耐性結核の一つである。 |

| | |
|---|---|
| multipurpose technologies (see also dual protection) 多目的技術(二重防護も参照) | 多目的技術は、HIV と他の性関連事項(性感染症や妊娠など)の両方を防ぐ装置または方法である。男性用、女性用コンドームはそうした 2 例だが、他にも避妊薬と HIV 感染予防のための抗レトロウイルス薬を含んだ膣内リングなど開発中のものもある。 |
| National AIDS spending assessment (NASA) 国のエイズ支出評価 | NASA は HIV 対策に使用される資金について、資金の出所から受益集団までの流れを示す。政策決定者には資金活用の戦略的情報を提供し、説明責任を果たし、プログラム実施の効果と効率を高めるものだ。国のモニタリングと評価の枠組みを支える手段であり、国レベルの HIV 支出を把握する観点からも推奨される測定ツールである。詳細は以下を参照。 http://www.unaids.org/en/dataanalysis/datatools/nasapublicationsandtools |
| national strategic plan (NSP) 国家戦略計画 (NSP) | NSP に関連する他の用語は国家エイズ対策枠組み、および年間エイズ行動計画である。NSP は注射針-注射器プログラムの頭文字でもあるので、略称はとくに避けた方がいい。 |
| needle-syringe programme (NSP) 注射針-注射器プログラム (NSP) | 注射針交換プログラムにかわり、注射針-注射器プログラムという用語が次第に使われるようになってきている。交換は配付に比べ、意図に反して否定的な意味合いを持ってしまふからだ。交換は用語上、きれいな器具を得るために使用済みの器具の提出を求めることになり、この「条件」がどうしても否定的な印象を伴う。しかし、どちらのプログラムも、消毒された注射器具の利用を広げるという目的は同じである。 |
| noncommunicable diseases (NCDs) 非感染性疾病 (NDCs) | 非感染性疾病は世界の全疾病の 68%(2012 年時点)を占める慢性疾患群である。WHO の世界行動計画は 4 大非感染性疾病に焦点を当てている: 心血管疾患(心臓発作と脳卒中の原因になる高血圧とアテローム性動脈硬化を含む、); がん(現実には子宮頸がんのような致死率の高いがんには、実はウイルスが原因であるものが多く、カポジ肉腫のように HIV 感染に伴って発症するがんもあるが); 慢性呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患やぜん息を含む); 糖尿病。これら 4 大疾患群は 4 大リスク要因を共有している; 喫煙、不健康な飲食、運動不足、過度の飲酒である。他の感染しない障害、死亡の原因は、交通事故のように、一般的に NCDs には含めない。精神疾患及び退行性その他の神経疾患も同様である。 NCDs と HIV は以下のように多数の原則を共有している: 保健分野だけでなく社会全体を巻き込んだ対応; コミュニティの関与と行動変容; 社会正義と公正; 効果的で利用、負担可能な保健システムによる慢性疾患管理。 |
| nutritional support 栄養支援 | 栄養支援は個人および世帯に対し適切な栄養を確保することを目指す。そこには、個人および世帯の食事摂取量、栄養状態、食の安全の評価、食育とバランスの取れた食事のカウンセリング、治療による副作用や感染の低減、清潔な水へのアクセスなどが含まれる。必要なら栄養補助食品や微量栄養素の補給も行う。 |
| opioid substitution treatment or therapy (OST) オピオイド代替療法 (OST) | オピオイド代替療法はオピオイド依存の人に推奨される薬物依存治療法である。HIV 感染予防および抗レトロウイルス治療の継続に有効なことは証明されている。OST で最も多く使われているのはメサドンとブプレノルフィンである。 |

| | |
|---|---|
| <p>opportunistic infection 日和見感染症</p> | <p>日和見感染症は、免疫システムが機能している人の体内では病気の原因にならないさまざまな微生物による感染である。HIV 感染が進行した人は、肺、脳、目その他の器官に日和見感染が起きることがある。</p> <p>エイズ発症者によく見られる日和見感染症にはニューモシチス・ジロヴェチ、クリプトスポリジウム症、ヒストプラズマ症、細菌感染症、ある種のがん、寄生虫・ウイルス・真菌感染症などがある。HIV 感染者に最も多い日和見感染症が結核である国は多い。</p> |
| <p>parent-to-child transmission 親から子への感染</p> | <p>mother-to-child transmission (母子感染) を参照。</p> |
| <p>population and location (see also key populations) 集団と地域 (キーポピュレーションも参照)</p> | <p>HIV 対策の分野では、人口と地域、あるいは地域的流行は、対策の優先度を判断するために使われるコンセプトである。HIV 陽性率または HIV 感染発生率が高い地域や集団に焦点を当てる必要があることを示している。集団、地域アプローチは、国内の HIV の流行に関するより詳細な知識に基づき、効果的な HIV 対策を進めることができる。</p> |
| <p>positive health, dignity and prevention ポジティブな健康、尊厳、予防</p> | <p>ポジティブな健康、尊厳、予防は、人権尊重の観点に立って HIV の感染を防ぐために考えられた HIV 予防政策およびプログラムを示し、感染の有無に関わりなく、すべての個人が責任を果たすべきものとされている。世界 HIV 陽性者ネットワーク (GNP+) と UNAIDS が 2009 年 4 月に開催した国際会議で、「ポジティブな予防」や「ポジティブによるポジティブのための予防」といった用語にかわって生み出された造語である。人にレッテルを貼るような呼び方をやめ、非人間的な扱いを避けるためだ。</p> <p>性と生殖に関する健康を守り、HIV 感染症の進行を遅らせる戦略を踏まえ、個人の健康増進、HIV および性と生殖に関する健康のサービスへのアクセスの確保、政策の提言および政策変更などを進める意図もこの用語には含まれている。</p> |
| <p>post-exposure prophylaxis (PEP) 曝露後感染予防 (PEP)</p> | <p>曝露後感染予防は HIV への曝露 (または曝露の可能性) があった後で抗レトロウイルス薬を投与することである。</p> <p>曝露は職務上 (針刺し事故など) のこともあるし、職務とは異なる場合 (感染したパートナーとのコンドームなしのセックスなど) もある。後者は非職務上の曝露後予防 (N-PEP) とも呼ばれる。</p> |
| <p>poverty reduction strategy paper (PRSP) 貧困削減戦略書 (PRSP)</p> | <p>貧困削減戦略書は国内関係者および世銀、国際通貨基金など国際開発パートナーの参加型プロセスにより加盟国が準備する。詳細は以下を参照。</p> <p>http://www.imf.org/external/np/prsp/prsp.aspx</p> |
| <p>pre-exposure prophylaxis (PrEP) 曝露前感染予防 (PrEP)</p> | <p>曝露前感染予防 (PrEP) は HIV に曝露する前 (または曝露の可能性がある前) に抗レトロウイルス薬を投与することである。</p> <p>いくつかの研究により適切な抗レトロウイルス薬を毎日、経口服用することで男性も女性も性行為や注射による HIV 感染のリスクを減らす効果があることが示されている。</p> |
| <p>prevalence 有病率</p> | <p>通常はパーセンテージで示される。HIV 有病率は特定の時点における人口中の HIV 陽性者の割合を示す。HIV 陽性者数を示すこともできる。UNAIDS は通常、15~49 歳の HIV 有病率を報告している。</p> <p>ブリバレンス (有病率) レートという言い方はしない。有病率で十分だからだ。</p> |

| | |
|---|---|
| prisons and other closed settings | <p>刑務所および他の閉鎖的場所は、裁判を待つ人、有罪宣告を受けた人、その他の安全上の措置の対象になった人の拘留施設を指す。司法の権限によって状態は異なることがあり、監獄、刑務所、拘置所、少年鑑別所、再留置／公判前拘留施設、強制労働キャンプ、更生施設などが含まれる。受刑者や他の被収容者を包括する用語が必要である。HIV 予防、治療、ケア、支援のユニバーサルアクセスはこうした状況にも対応しなければならない。</p> |
| programme integration プログラムの統合 | <p>プログラムの統合とは、異なる種類のサービスまたは運営プログラムの効率と成果を（サービス間の紹介を円滑に行うことや、1 カ所で包括的なサービスを受けられるようにすることで）最大限に高めることだ。政策レベルでは、計画や予算、戦略的なリーダーシップと方針、保健システム強化などの共有化を指す。</p> |
| provider-initiated testing and counselling (PITC) (see also client-initiated testing and counselling (CITC) and HIV testing services (HTS)) | <p>医療者主導の検査とカウンセリング(PITC)は、医療機関で標準的医療行為の一つとして保健医療提供者が推奨する HIV 検査とカウンセリングを指す。サービスを受けるすべての人(産前ケアの妊婦など)に常に提供され、OPT-OUT 方式が推奨される;この方式は依然、自発的であり、テストを受けないという判断は患者にゆだねられている。</p> |
| 医療者主導の検査とカウンセリング PITC (利用者主導の検査とカウンセリング(CITC)、HIV 検査サービス(HTS)も参照) | <p>医療者主導の検査とカウンセリングの目的は、その人の HIV 感染の有無が分からなければならない特定の臨床判断(あるいは特定の医療サービス)の提供を可能にすることだ。また、HIV 感染を知らずに、あるいは疑わずに、保健医療機関を訪れた人の感染確認を助けることにもなる。</p> |
| reproductive health 生殖に関する健康 | <p>生殖に関する健康は「生殖のシステムと機能とプロセスのすべてに関して、単に病気や疾患がないだけでなく、身体的、精神的、社会的に完全に健康な状態である。人は満足で安全な性生活を送ることができ、出産が可能であり、判断が必要なときには、いつ、どのように産むかを判断する自由を有しているということを意味している。この最後の条件は、安全かつ効果的で、資金負担と受け入れが可能な家族計画の方法に関する選択、そして他の出産関係の規則に関する法に反しない選択のための情報とアクセスを得る男性と女性の権利、および女性が安全に妊娠、出産し、カップルが健康な子供を得るための適切な保健医療サービスへのアクセスを保障される権利があることも暗黙の内に示している」(15)。</p> |
| reproductive rights 生殖に関する権利 | <p>生殖に関する権利は「国の法律や国際人権文書その他の合意を得られた文書ですべてに認められている人権である。すべてのカップルと個人には子供の数と産む間隔と時期を自由に、そして責任をもって決め、そのための情報と手段を得る権利、そして性と生殖については最高の基準を得る権利があるという基本的人権の認識に基づくものだ。また、人権に関する文書で表わされているように、生殖に関し、差別や強制、暴力を受けることなく判断する権利も含まれている。こうした権利については、本人の生活や子供の将来、およびコミュニティに向けての責任も考慮に入れるべきである」(15)。</p> |
| reservoirs レザバー | <p>latency(潜伏)を参照。</p> |
| risk リスク | <p>リスクは、HIV の曝露を受けるリスク、または HIV に感染するリスクとしてとらえる。個人が HIV に曝露されるかどうかは、集団に属しているかどうかではなく、行動によって判断される。特定の行動がリスクを生みだし、増幅させ、永續させることになる。</p> |
| | <p>リスクのある集団あるいはリスクグループといった表現は避ける—一人を HIV 感染の高いリスクにさらすことになるのは行動であり、グループを特定する必要はないからだ。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>risk compensation リスク・コンペンセーション、代償リスク</p> | <p>リスク・コンペンセーションは、個人のリスク認識の低下により、HIV 感染のリスクが次第に増えていくことを説明する際に使われる。たとえば、割礼手術は HIV 感染を部分的に防ぐ効果があることから、手術を受けた男性が、もう HIV には感染しないと思込み、コンドーム使用をやめてしまうかもしれない。また、治療が可能なことから、感染の防護は重要ではないと考える人もいるかもしれない。一定の予防効果を有する新たなツールが登場したときには、状況にあわせ、コンペンセーションを最小化するための効果的コミュニケーション戦略が必要になる。</p> |
| <p>school-related gender-based violence (SRGBV) 学校関連のジェンダーに基づく暴力 (SRGBV)</p> | <p>学校関連のジェンダーに基づく暴力は「性もしくはジェンダー自認を理由にして、子供または学校周辺において加えられる性的、身体的、または心理的な暴力を指す。また、少女と少年の相違に基づく暴力の経験または脆弱性も対象となる」(16)。</p> |
| <p>screening スクリーニング</p> | <p>スクリーニングは、病気の徴候がない個人や集団において体の状態を医学的にさぐるため、キーポピュレーションに提供される。予防医学の重要戦略であり、診断や積極的な症例探索とははっきり区別すべきである。</p> <p>スクリーニングには、雇用や保険加入時に個人の HIV 感染の有無を確認する目的で悪用されかねない面もある。HIV/エイズと人権に関する国際指針(22 条)によると、法律、規制、労働協約は他の条項とともに以下の規定を求めている:雇用、昇進、研修、給与などが HIV スクリーニングの影響を受けてはならない; HIV 感染を含めすべての医療情報に関して秘密を保持する; HIV 陽性の従業員に対し雇用保障を行う(17)。</p> <p>こうした原則は ILO 勧告 No200 に示されている(18)。</p> |
| <p>second generation surveillance 第二世代サーベイランス</p> | <p>HIV の第二世代サーベイランスは、情報を定期的かつ組織的に収集、分析、解釈、報告し、HIV の流行の時間的な変化を追跡、把握するために活用する。HIV サーベイランスとエイズ症例報告に加え、第二世代サーベイランスにはリスク行動の動向を把握するための行動学的サーベイランスも含まれる。HIV 感染のリスクにさらされやすい集団における HIV や性感染症の感染レベルを把握するためだ。これらの異なる情報の重要度は、それぞれの国が直面する流行の状況によっても変わってくる。</p> |
| <p>seroprevalence (see also seronegative and seropositive) 血清有病率(血清陰性と血清陽性も参照)</p> | <p>HIV 感染についていえば、血清有病率は、ある特定の時期において HIV 感染の血清学的エビデンス(たとえば HIV 抗体)がある人の割合である。</p> |
| <p>serostatus セロステータス</p> | <p>セロステータスは、血液中の抗体の存在または不在を表わす包括的用語である。この用語はしばしば HIV 抗体の有無を示すために使われる。</p> |
| <p>sex (see also gender) セックス(ジェンダーも参照)</p> | <p>セックスという用語は、個人を男性と女性に分類するための生物学的に決定される相違を指す。この分類法の基本になるのは生殖器および生殖機能である。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>sexual and reproductive health package 性と生殖に関する健康のパッケージ</p> | <p>この用語は、責任の持てる、満足で、安全な性生活を送ることだけでなく、出産が可能で、いつ、どのような間隔で出産するかを自由に決定できることを保障するプログラム、供給物、多分野にまたがるサービスを指す。その決定は社会経済的な状態、教育レベル、年齢、民族、宗教、使用可能な資金などによるいかなる不平等も受けずになされることが、とりわけ重要である。</p> <p>性と生殖に関する健康のパッケージは、男性も女性も、以下の項目に関する情報を得られるよう(またはアクセスがあるよう)保障することを目的としている: 安全で、効果的で、経済的に負担可能で、自発的に受け入れることができる妊娠調節の手段; 性と生殖に関するケア、治療、支援の適切なサービス; 包括的なセクシャリティ教育。パッケージはまた、以下を含む(ただしこれだけに限らない): 妊娠関連サービス(および出産専門技能者)、出産に伴う緊急事態への対応、中絶後のケア; 性感染症と HIV の予防、診断、治療; 乳がん、子宮頸がんの予防と早期診断; ジェンダーに基づく暴力の予防と被害者のケア。</p> |
| <p>sexual and reproductive health programmes and policies 性と生殖に関する健康プログラムと政策</p> | <p>性と生殖に関する健康プログラムと政策には、以下のものが含まれる(ただし、これだけに限らない): 家族計画のためのサービス; 不妊サービス; 母子保健サービス; 危険な中絶の防止と中絶後のケア; HIV の母子感染予防; HIV 感染症、生殖器系感染症、子宮頸がん、婦人科疾患を含む性感染症の診断と治療; セクシャリティ・カウンセリングを含む性の健康の増進; ジェンダーに基づく暴力の予防と管理。</p> |
| <p>sexual health 性の健康</p> | <p>性の健康は「単に疾病や機能障害がないだけでなく、セクシャリティに関して身体的、情緒的、精神的、社会的に良好な状態である。性の健康はセクシャリティと性関係を肯定的に受け止め、尊重すること、そして強制や差別や暴力を受けることのない楽しく安全な性体験を持てるようにすることを求めている。性の健康を達成し、維持していくには、すべての人の性の権利を尊重し、守り、実現していかなければならない」(19)。</p> |
| <p>sexual orientation 性的指向</p> | <p>性的指向という用語は、それぞれの人々がどのような性に対し、情緒的、感情的、性的に深く惹かれるか(そして親密に感じ、性的な関係を持つか)を示すキャパシティを指す。しばしば使われる略語、SOGI は Sexual Orientation、Gender Identity (性的指向、性自認)の頭文字である。</p> |
| <p>sexual rights 性の権利</p> | <p>性の権利は「すでに多くの国の法律、国際人権記録や合意された声明などによって認められている人権である: すべての人が、強制されることも、差別されることも、暴力を受けることもなく、可能な限り最高の水準の性的健康を保つ権利を認められている。そこには以下が含まれている: 性と生殖に関する保健ケアサービスへのアクセスを確保する; セクシャリティに関する情報を求め、受け取り、伝える; セクシャリティ教育を受けられる; 身体の状態を良好に保つことを尊重する; パートナーを選べる; 性的に活発になるかならないかを決定できる; 合意の上での性関係に参加する; 合意の上での結婚ができる; 子供を持つかどうか(そしていつ持つか)を決められる; 安全で、満足でき、楽しい性生活を求められる」(19)。</p> |
| <p>social change communication (see also behaviour change communication) 社会を変えるコミュニケーション(行動変容コミュニケーションも参照)</p> | <p>社会を変えるコミュニケーションとは、アドボカシー、コミュニケーション、社会活動を戦略的に活用し、HIV 感染のリスクと脆弱性と影響をもたらす要因を組織的に変えていくことだ。コミュニティと国のエイズプログラムはこうした戦略を通じ、ジェンダーの不平等や人権侵害、HIV にまつわるスティグマなど、効果的なエイズ対策を妨げる構造的要因と闘うことが可能になる。社会を変えるコミュニケーションのプログラムは、個人、コミュニティ、および政策レベルで行動を促す触媒の役割を果たすことができる。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>social determinants of health 健康の社会的決定要因</p> | <p>健康の社会的決定要因は、人の誕生、成長、就労、加齢に関する条件を WHO が定義したものだ。こうした環境(保健システムを含む)は、世界全体および各国、地方レベルにおける資金や権限の配分によって決まるし、その要因自体が政策選択に影響を受けることになる。</p> <p>健康の社会決定要因は、国内および国際間の保健をめぐる不平等や不公正で回避可能な健康格差を生み出す大きな原因にもなっている。公衆衛生分野では、健康に影響を与える社会要因だけでなく、経済、文化、環境的な要因(成文化された法律や政策を含む)、コミュニティの規範も含め、この用語をアンブレラコンセプトとして使うことは常識である。</p> <p>健康の社会経済的決定要因や構造的決定要因とも重なる用語だが、健康の社会的決定要因は全体を覆うかたちでより広く使われている。それでも、決定要因と影響との相違を明確にしておくこと、そして、それぞれの状況のもとで、その要因が社会的、経済的、文化的なものなのか、他の構造的要因によるものなのかを特定する必要がある。</p> |
| <p>social protection (see also comprehensive social protection, HIV-related social protection, HIV-sensitive social protection and HIV-specific social protection) 社会保障(包括的社会保障、HIV 関連の社会保障、HIV に配慮した社会保障、HIV に特化した社会保障も参照)</p> | <p>社会保障は「貧困層への所得・消費移転、社会的に弱い立場の人への生活保護、排除されやすい人たちの社会的地位と権利の確保などに関するすべての公的および民間イニシアティブである。それは貧困層、社会的に弱い立場に置かれ排除されやすい集団に対し、経済的、社会的脆弱性の解消をはかる全体的な目標のもとに進められる」(20)。</p> <p>社会保障は現金の支給や社会的移転にとどまらない; 不平等や排除、そして HIV の予防、治療、ケア、支援のサービスへのアクセスを阻む多数の障壁を打ち破るための経済、保健、雇用支援を含んでいる。</p> |
| <p>standard precautions 標準予防策</p> | <p>現在は標準予防策という表現が、普遍的予防策(universal precautions)にかわって使われている。手袋、防護衣、マスク、ゴーグル(飛散が予想されるとき)の着用を含め、細胞、血液、その他の体液に含まれる病原体の曝露リスクを最小化するため、保健医療機関で常に実施すべき標準的な感染管理策を示すものだ。</p> |
| <p>stigma and discrimination スティグマ、偏見と差別</p> | <p>スティグマの語源はギリシャ語でマークまたは、しみを意味する言葉で、いまはそれが思い込みや態度の意味で使われている。スティグマは個人の信用を著しく損なう動的なプロセスとして説明できる。たとえば、ある文化、状況の中で、特定の性質を不名誉または無価値なものとする口実などである。スティグマの結果が差別につながる。</p> <p>差別は人に影響を及ぼすすべての恣意的な区別、排除、制限を指す。通常は(それだけではないが)個人的特徴や特定の集団のメンバーと見なされて起きることが多い。これは人権の侵害である。HIV に関しては、感染原因に関わりなく HIV 陽性と確認された人、想定される人に対し差別が起こりうる。スティグマ化と差別という用語は普通のスピーチや論文に使われ、複数で扱われることもある。</p> |

| | |
|---|---|
| strategic use of antiretrovirals/ARVs 抗レトロウイルス薬/ARVsの戦略的使用 | HIVの治療と予防のために抗レトロウイルス薬を使う以下の戦略の包括的用語:HIV関連の罹病率と死亡率を減らすため、HIV陽性の個人に抗レトロウイルス薬を提供(抗レトロウイルス治療);赤ちゃんへの感染を防ぐため HIV陽性の妊婦に抗レトロウイルス薬を予防目的で提供(母子感染予防 PMTCT);HIV感染を防ぐため HIV陽性の個人に抗レトロウイルス薬を提供(たとえばセロディスコードな関係の場合);HIV感染を防ぐため HIV陰性の個人に抗レトロウイルス薬を提供(曝露前感染予防 PrEP または曝露後感染予防 PEP);HIV感染を防ぐための抗レトロウイルス薬の局所使用(局所的 PrEP)は研究中で、一般的に抗レトロウイルス薬の戦略的使用には含まれていない。 |
| structural interventions 構造的インターベンション | 個人が行動する身体的、法的、社会的環境を変えようとする手法。リスクを増すような行動を減らすための障壁を取り除くことも含まれる。 |
| surveillance サーベイランス、動向調査 | 公衆衛生サーベイランスは、公衆衛生対策の計画、実施、評価に必要な健康関連のデータを継続的、組織的に収集、分析、解釈することである。 |
| sustainable development goals (SDGs) 持続可能な開発目標(SDGs) | 持続可能な開発目標(SDGs)に向けた国連加盟国の合意形成プロセスはリオ+20会議の大きな成果の一つである。SDGs はミレニアム開発目標(MDGs)を踏まえ、ポスト2015の開発アジェンダの枠組みを提供している。 SDGsに関する公開ワーキンググループ(OWG)の成果文書は17目標を提案しており、そのうちの目標3は「あらゆる年齢の人すべてに健康的な生活を確保し、福祉を促進する」となっている。とりわけターゲット3.3では「2030年までにエイズ、結核、マラリア、そして顧みられない熱帯病の流行を終結し、肝炎、水系感染症、その他の感染症と闘う」としている。詳しくは下記サイトへ。 http://sustainabledevelopment.un.org |
| syndrome d'immunodéficience acquise (sida) シーダ(sida) | AIDSのフランス語の頭文字;大文字にはしない(sidaと書く)。同じ頭文字になるスペイン語など他のいくつかの言語でもsidaとなっている。SIDA(スウェーデン国際協力機関)と混同しないよう注意。 |
| systemic factors 系統的要因 | 系統的要因はシステムに内在するもので、個人的、個別的要因は排除されている。システムがどのように機能し、資源を配分するかに関係している。 |
| technical support facility (TSF) 技術支援機構 | UNAIDSは2005年にHIVの流行に対応するうえで利用可能な資金を最も効率的、効果的に活用できるようタイムリーで質の高い技術支援を提供する技術支援機構(TSFs)を設立した。TSFsは地域機関が主催する小規模な管理チームで、各国が技術支援を受けることを助けている。TSFはアフリカとアジアの80カ国をカバーしている。 |

| | |
|---|--|
| <p>ten targets of the 2011 United Nations Political Declaration on HIV and AIDS 2011 年の HIV/エイズに関する国連政治宣言でまとまった 10 項目のターゲット</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 2015 年までに HIV 性感染を 50%減らす。 2. 2015 年までに注射薬物使用者の HIV 感染を 50%減らす。 3. 2015 年までに子供の HIV 感染をなくし、母親のエイズによる死亡を大きく減らす。 4. 2015 年までに HIV 陽性者 1500 万人が生命を救う抗レトロウイルス治療を受けられるようにする。 5. 2015 年までに結核による HIV 陽性者の死亡を 50%減らす。 6. 2015 年までに世界的なエイズ資金ギャップを埋め、低・中所得国で年間 220～240 億ドルの投資を確保する。 7. ジェンダーの不平等およびジェンダーに基づく虐待や暴力をなくし、女性と女兒が HIV 感染から自分を守れるようにする。 8. すべての人権と基本的な自由を実現する法律や政策によって、HIV 陽性者および HIV の流行に影響を受けている人に対するスティグマと差別をなくす。 9. HIV に関連した入国、滞在、居住に対する規制をなくす。 10. HIV 関連サービスの重複を避け、エイズ対策と国際保健、国際開発との統合強化、および社会保障サービスの強化を図る。 |
| <p>test and treat 検査して治療</p> | <p>検査して治療は、自発的 HIV 検査を進め、検査で陽性が判明したら WHO の臨床段階や CD4 細胞数に関わりなく抗レトロウイルス治療を提供する手法を示す。検査も治療も自発的な意思で受けるということは、個人の自主性を尊重する観点から強調しておく必要がある。</p> <p>検査して治療を提案するには、患者が生涯にわたる治療を続けられるよう服薬継続への強力な支援が必要である。さらにリスク低減のためのカウンセリングやコンドーム支給、PrEP といった強力なコンビネーション予防策が常に必要になる。検査して治療を推奨する際に HIV 陰性の男性に対する割礼手術の紹介を含めることもある。</p> |
| <p>three Is for HIV/TB HIV/結核対策の 3 つの I</p> | <p>HIV/結核対策の 3 つの I は、イソニアジド (isoniazid) による予防的治療、活動性結核の集中的 (intensive) 症例探索、(国のガイドラインに基づく) 活動性結核患者の結核感染コントロールと早期抗レトロウイルス治療 (CD4 に関わりなく: irrespective of CD4 count) であり、HIV 陽性者とそのパートナー、家族、コミュニティに対し、結核の影響を低減するための重要な公衆衛生戦略となっている。</p> |
| <p>transgender トランスジェンダー</p> | <p>トランスジェンダーは、誕生時の性と性自認や表現が慣例上の規範や期待と一致しない人びとを総称する用語である。トランスジェンダーの人びとには、性別適合手術を受けている人も、手術以外のジェンダー関連の医学的措置 (ホルモン治療など) を受けている人も含まれる。ジェンダーを持たないと認識している人、複数のジェンダーを持つと認識している人、男女ではない別のジェンダーを持つと認識している人も含まれる。</p> <p>自らをトランスジェンダーと認識している人もいるし、男性、女性、トランスウーマン、トランスマン、トランスセクシャル、ヒジュラ、カトイ、ワリア、そのほか数多くのトランスジェンダーの呼び方で自認している人もいる。自らのジェンダーについては男らしさ、女らしさ、両性的な方法などさまざまに表現している。トランスジェンダーの人たちの多様さを学び、肯定的な言葉を使い、侮蔑的な言葉は避けることが重要である。</p> |
| <p>transphobia トランスフォビア</p> | <p>トランスフォビアは、トランスジェンダーの人びとに対し、恐怖や嫌悪の感情を抱き、拒絶することであり、しばしばスティグマや差別の対象にする行動をとる。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>TRIPS Agreement (Agreement on Trade-related Aspects of Intellectual Property Rights) TRIPS 協定(知的所有権の貿易関連の側面に関する協定)</p> | <p>知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(または TRIPS 協定)は世界貿易機関(WTO)が管理し、製薬特許の保護を尊重しつつ、低・中所得国に一定の柔軟な扱いを認めている。</p> <p>TRIPS は WTO の主要 3 協定のひとつである。WTO 加盟国に対し、生存に不可欠な医薬品(抗レトロウイルス薬など)を含めさまざまなタイプの知的財産権について最低限、守るべきレベルを示している。TRIPS 協定には、生命に関わる医薬品へのアクセスを確保するための強制実施権など公衆衛生関連の柔軟な対応や保護条項も盛り込まれている。後発開発途上国は 2016 年 1 月 1 日まで製薬特許の適用を免除される。詳しくは以下のサイトを参照。</p> <p>www.wto.org/english/tratop_e/trips_e/trips_e.htm</p> |
| <p>tuberculosis (TB) 結核(TB)</p> | <p>結核(TB)は低・中所得国で HIV 感染に伴う最大の日見感染症であり、世界全体で見ると HIV 陽性者の最も大きな死亡原因である。</p> <p>結核そのものとの違いを示すために HIV/TB と短縮するのではなく、HIV を伴う結核または HIV を伴う TB といった用語を使うべきだ。結核患者に対し HIV 感染による負担を軽減するための中心戦略は、(HIV 感染の有無が分からない人への)HIV 検査と(HIV 陽性者への)抗レトロウイルス治療の提供およびコトリモキサゾール予防治療(CPT)である。HIV 陽性者の結核を減らす主な対策は、HIV ケアを受けている人に TB スクリーニングを定期的に行い、活動性結核ではない HIV 陽性者で基準を満たす人にイソニアジド予防内服(IPT)と ART を提供することだ。</p> |
| <p>undernutrition 低栄養</p> | <p>低栄養状態は、エネルギー、タンパク質、微量栄養素の摂取不足、吸収不良または疾病やエネルギー消費による栄養素の喪失などの結果として起きる。低栄養という用語は低体重出産、発育不良、衰弱、体重低下、微量栄養素欠乏症を含んでいる。</p> |
| <p>unfunded quality demand 資金的に厳しい案件</p> | <p>unfunded quality demand(資金的に厳しい案件)はグローバルファンドの造語で、技術的には可能だが、資金見通し(示された資金および追加獲得が見込める資金)の面で技術審査パネルが無理と判断した案件を指す。こうした案件は 3 年間、新規資金の見通しが立てば助成の可能性のある案件として、グローバルファンドや他のドナーに登録される。</p> |
| <p>United Nations General Assembly Special Session 国連特別総会</p> | <p>頭文字の UNGASS を使用。</p> |
| <p>UNGASS Declaration of Commitment on HIV/AIDS 国連エイズ特別総会コミットメント宣言</p> | <p>2001 年 6 月に国連エイズ特別総会が採択したコミットメント宣言で、加盟国は定期的に自国の進捗報告を行うことを約束した。</p> <p>UNAIDS 事務局は責任をもって報告の仕組みを開発し、各国から報告を受け、総会に向けて報告書を準備するよう委託されている。</p> |
| <p>universal access ユニバーサルアクセス</p> | <p>ユニバーサルアクセスは、HIV 予防、治療、ケア、支援のサービスを必要とする人に最大限に提供できるようにすることを示している。ユニバーサルアクセスに向けた規模拡大は、サービスが平等に利用できること、受けやすいこと、資金負担が可能であること、包括的であること、長期にわたって持続可能であることが基本原則となる。状況によってニーズは異なることから目標は国ごとに設定される。</p> |
| <p>universal precautions ユニバーサルプレコーション</p> | <p>standard precautions(標準予防策)を参照。</p> |

| | |
|---|--|
| vertical transmission 垂直感染 | mother-to-child transmission(母子感染)を参照。 |
| violence against women (VAW) 女性に対する暴力(VAW) | 「女性に対し身体的、性的、心理的な危害や苦痛をもたらすか、あるいはそれが予想されるあらゆるかたちのジェンダーに基づく暴力行為。公的な場であるか私生活であるかを問わず、そうした行為の脅迫や強制的、恣意的な自由の束縛を含む」(21)。 |
| voluntary medical male circumcision (VMMC) 自発的な男性割礼手術 (VMMC) | 自発的な男性割礼手術(VMMC)は、外科的に包皮(亀頭を覆う組織でヒト免疫不全ウイルスへの感受性が強い細胞がある)を取り除くことである。割礼が HIV 感染のリスクを下げることには、無視できないエビデンスがある。 VMMC は因習的な手術として行われてきたが、最近では男性割礼器具も使われている。この手術は以下のようなコンビネーション HIV 予防パッケージの一部として考えるべきである: 性感染症の徴候を積極的に調べ、治療する; 男性用、女性用コンドームの配付と使用促進; より安全なセックスおよびリスク低減に関するカウンセリング; HIV 検査と(HIV 陽性が判明した際の)抗レトロウイルス治療。 |
| vulnerability 脆弱性 | 脆弱性は、人をより HIV に感染しやすくしたり、エイズを発症したりするような機会の不平等、社会的排除、失業または不安定な雇用(その他、社会的、文化的、政治的、法的、経済的要因)を指す。脆弱性をもたらす要因は、個人やコミュニティが HIV のリスクを回避する能力を低下させ、対策を取りにくくすることがある。以下の要因が含まれる: サービスの利用や質の制限; 人権侵害、懲罰的法律、有害な社会・文化規範(特定の集団をスティグマ化、無力化させるような慣行、信念、法律を含む)。こうした要因は、単独もしくは連携して、個人的、集団的な HIV 脆弱性を生み出し、拡大することになる。 |
| Wasting 消耗症 | acute malnutrition(急性栄養失調)を参照。 |
| women who have sex with women (see also lesbian) 女性とセックスをする女性(レズビアンも参照) | 女性とセックスをする女性(10代および若い女性も含む)には、レズビアンまたは同性愛者を自認する女性、女性のみとセックスをする女性だけでなく、バイセクシャルの女性、異性愛者であると自認しているが女性ともセックスをする女性も含まれる。 WSW(女性とセックスをする女性)のような頭文字による略称は、人間性を奪うので使うべきではない。フル名称で言及すべきだが、表やグラフで簡潔に表記する必要があるときに集団名として使うことはあり得る。 |
| women's empowerment (see also empowerment) 女性のエンパワメント(地位向上) (エンパワメントも参照) | 女性のエンパワメントは、女性を不利な立場に置くような構造的な不平等を克服するために女性がとる行動である。社会的、法的、経済的な女性の地位向上は、女性がジェンダー上の差別に対応し、福祉の平等と資金や機会へのアクセスを実現し、保護的法制や司法へのアクセスから利益を受け、家庭内やコミュニティや国レベルでの意思決定に加わるためのゴールであり、プロセスでもある。 |
| young key populations (see also key populations) 若いキーポピュレーション | この用語は、キーポピュレーションに属する 15~24 歳の若者に使われる。HIV 陽性の若者、若いゲイ男性や男性とセックスをする男性、トランスジェンダーの若者、注射薬物使用者の若者、性を売る若者(18歳以上)などである。キーポピュレーションの若者には独特のニーズがしばしばあり、HIV 対策の成功には意味のあるかたちでの若者の参加が重要になる。 |

組織紹介

共同スポンサー

国連合同エイズ計画(UNAIDS)は以下の 11 機関が共同スポンサーになっている:

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) www.unhcr.org

国連児童基金 (UNICEF) www.unicef.org

世界食糧計画 (WFP) www.wfp.org

国連開発計画 (UNDP) www.undp.org

国連人口基金 (UNFPA) www.unfpa.org

国連薬物犯罪事務所 (UNODC) www.unodc.org

ジェンダー平等と女性のエンパワメントのための国連機関 (UN Women) www.unwomen.org

国際労働機関 (ILO) www.ilo.org

国連教育科学文化機関 (UNESCO) www.unesco.org

世界保健機関 (WHO) www.who.int

世界銀行 www.worldbank.org

世界エイズ・結核・マラリア対策基金(グローバルファンド)

世界エイズ・結核・マラリア対策基金は独立の官民パートナーシップとして 2001 年に創設された。HIV、結核、マラリアによる影響が深刻な国々においてその影響を軽減するために持続可能かつ多大な貢献を果たすための追加的資金を収集、管理、分配し、あわせてミレニアム開発目標の一部として貧困の解消に貢献することが目的となっている。文書中でこの組織に言及する際には、初出でフルネームを記載し、以後はグローバルファンドとする (GFATM は使わない)。 www.theglobalfund.org

PAHO : 汎米保健機構

PAHO は保健分野に特化した米州内のシステム。世界保健機関 (WHO) の米州地域事務局。 www.paho.org

UN Cares 国連ケアーズ

国連機関全体の職場における HIV プログラム。 www.uncares.org

UN-Globe 国連グローブ

国連のゲイ、レズビアン、バイセクシャル、トランスジェンダーの職員グループ。 <http://www.unglobe.org>

UN Plus 国連プラス

国連プラスの目的は、国連機関のすべての HIV 陽性の職員が (HIV 感染の開示の程度にかかわらず) 働きやすく、意見を言うことができ、国連機関内の HIV に関する方針の策定や改善に貢献できるような環境をつくることにある。

www.unplus.org

UNITAID ユニットエイド

ブラジル、チリ、フランス、ノルウェー、英国の 5 カ国が 2006 年 9 月の国連総会で設立した革新的資金メカニズムで、主に低所得国で暮らす人たちのために良質の HIV、マalaria、結核の検査、治療薬を低価格で提供できるようにすることを目指している。UNITAID は以来、29 カ国以上とビル&メリンダゲイツ財団が加盟するなど規模を拡大している: これらのメンバーの中には複数年の資金貢献を続けているところもあるし、航空券連帯税を導入しているところもある。UNITAID は知的財産権に関しては保健重視の立場をとっており、ジュネーブの WHO に本部を置いている。

<http://www.unitaid.eu>

WIPO: World Intellectual Property Organization WIPO : 世界知的所有権機関

知的財産に関するサービス、政策、情報、協力などを扱う国連の専門機関。 www.wipo.org

参考情報

言語

UNAIDS はイギリス英語を表記として採用している。初期設定用の一般的なワープロソフトのパッケージとしては有用である。

スタイルガイド

UNAIDS は WHO スタイルガイドに基づき 2015 年 9 月に更新した UNAIDS 編集スタイルガイドを使用している。

辞書

コンサイスオックスフォード英語辞典を採用。もうひとつの有用な情報源は疫学辞典第 5 版。ミケル・ポルタ、サンダー・グリーンランド、ジョン・M・ラスト、発行オックスフォード・ユニバーシティ・プレス(2008)

用語集

HIV に関する情報はインターネットで豊富に得られる。以下のリンクが用語集として有用だろう。提供される情報は通常、明確かつ正確であるが、UNAIDS がこれらのサイトの情報の確度を保証することはできないし、責任も持てない。この点は留意してほしい。

<http://www.aidsinfo.nih.gov/education-materials/glossary>

<http://www.aidsmap.com/Glossary>

テーマ別用語索引、出典（略）

UNAIDS 公式サイトの英文 PDF 版をご覧いただきたい。

http://www.unaids.org/en/resources/documents/2015/2015_terminology_guidelines

訳者から

国連合同エイズ計画（UNAIDS）は、自らの組織のスタッフおよび共同スポンサーである国連 11 機関や関連パートナー機関で働く人たちに向けて用語ガイドラインを作成しています。今回の 2015 年版は先行する 11 年版を全面的に改定し、昨年秋に公表されました。本書はその日本語仮訳です。

残念ながら 11 年版の仮訳はありませんが、その前の 08 年版はエイズ予防財団が対訳形式で日本語版を作成し、API-Net にも PDF 版を掲載してあります。あわせてお読みいただくと、HIV 流行に関する世界の考え方の変遷もある程度、把握できるでしょう。

ガイドラインは用語に対するひとつの考え方であり、絶対にこうしなければいけないというものではありません。内容は「推奨用語」と「用語に関する背景説明」の 2 つが中心になっています。推奨用語は、いままではこういう用語が使われていたけれど、適切とはいえないので、こちらを使うようにしようという提案です。

日本語に訳すとほとんど差がないような用語や、これはどうなんだろうかと疑問符が付く見解も中にはあります。そうしたケースも含め、世界の大きな対策の流れの中で国際機関からはこんな考え方が示されているということを認識したうえで、国内の議論を進めていく。そのための素材としても活用していただければ幸いです。

なお、翻訳に際し、エイズ動向委員会の岩本愛吉委員長および特定非営利活動法人ふれいす東京の樽井正義理事のお二人から多数の貴重なご助言をいただきました。この場を借り改めてお礼を申し上げます。

公益財団法人エイズ予防財団理事、産経新聞特別記者 宮田一雄

Copyright © 2015
Joint United Nations Programme on HIV/AIDS (UNAIDS)
All rights reserved.

The designations employed and the presentation of the material in this publication do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of UNAIDS concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. UNAIDS does not warrant that the information published in this publication is complete and correct and shall not be liable for any damages incurred as a result of its use.

UNAIDS / JC2672E



UNAIDS
Joint United Nations
Programme on HIV/AIDS

20 Avenue Appia
1211 Geneva 27
Switzerland

+41 22 791 3666

unaids.org



公益財団法人エイズ予防財団
Japan Foundation for AIDS Prevention

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 1-3-12

<http://www.jfap.or.jp/>